

五島市まち・ひと・しごと創生  
人口ビジョン・総合戦略  
(アクションプラン)  
進捗・達成状況



令和7年8月  
政策企画課

－ 目 次 －

**基本目標 1**

**五島の恵みを活かし、雇用を生み出す“しま”をつくる**

・・・P 1～P 16

**基本目標 2**

**五島の魅力を発信し、世界に誇れる“しま”をつくる**

・・・P 17～P 26

**基本目標 3**

**安全・安心で住みやすさ日本一の“しま”をつくる**

・・・P 27～P 36

**基本目標 4**

**五島の宝・子どもが育ち、輝く“しま”をつくる**

・・・P 37～P 46

基本目標	I	五島の恵みを活かし、雇用を生み出す“しま”をつくる	所属課	商工雇用政策課、農林課、水産課、文化観光課
------	---	---------------------------	-----	-----------------------

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
国境離島法による雇用創出数(累計)	目標値(人)	368	451	534	617	700	H29年度～R6年度の各年度末時点の雇用創出数	B
	実績(人)	462	513	586	638	692		
Nぴか企業数(累計)	目標値(事業所)	1	2	3	4	5	(株)今村組・ごと(株)・(株)アライ・(株)浜口水産・(株)三井楽水産・(株)イシマル五島・(株)アシタバ機電	A
	実績(事業所)	2	3	4	4	7		
求人数に対する正社員の求人割合	目標値(%)	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	ハローワーク調べ(令和7年3月)	A
	実績(%)	36.0	37.1	37.2	42.8	45.2		
農林水産、物産・ブランド及び企業誘致・地場産業の施策に対する市民満足度	目標値(%)	20.0	24.0	27.0	31.0	35.0	市民アンケート	C
	実績(%)	24.6	23.6	23.0	29.8	23.5		

### 2. 総評

<p><b>【国境離島法による雇用創出数】</b> R6年度雇用創出数は54名で年々減少傾向である。累計での雇用創出数としては、ほぼ目標値に近い雇用創出数であった。</p> <p><b>【Nぴか企業数】</b> 合同企業説明会参加企業や、市内企業の戸別訪問による制度周知により、R6年度に3件の新規認定を受けており、累計で目標値を達成した。</p> <p><b>【求人数に対する正社員の求人割合】</b> 実績には、令和7年3月時点の数値(正社員求人数364/総求人数806)を採用しており達成した。</p> <p><b>【農林水産、物産・ブランド及び企業誘致・地場産業の施策に対する市民満足度】</b> アンケート結果より、農林水産、物産・ブランド及び企業誘致・地場産業の施策について、「やや不満、不満」という方より、「わからない」と回答した方の割合が多かった。</p>
--

### 3. 今後の取組方針

<p><b>【国境離島法による雇用創出数】</b> 雇用機会拡充支援事業の島内外への周知や、長崎県と連携した「ながさき「しま」のビジネスチャレンジ促進事業」、展示会出展等による事業者の掘り起こしを行い、実施事業者数、雇用創出数を増加させる。</p> <p><b>【Nぴか企業数】</b> 市HPや広報紙による市内企業への制度周知を図り、認定企業数を増加させる。</p> <p><b>【求人数に対する正社員の求人割合】</b> 雇用機会拡充支援事業の活用推進、企業誘致、市内企業の人材確保支援などを行うことで、正社員求人など良質な雇用の創出を推進する。</p> <p><b>【農林水産、物産・ブランド及び企業誘致・地場産業の施策に対する市民満足度】</b> 各事業をHPや広報誌等で周知する際は、市民に分かりやすい内容で掲載する。</p>
--

戦略プロジェクト	I-1	農林業振興プロジェクト	所属課	農林課
重点事業	I-1-1	経営基盤の強化		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
新規就農者数	目標値(人)	10	10	10	10	10	振興局資料	A
	実績(人)	15	19	20	20	21		
認定農業者数	目標値(人)	261	261	261	261	261	農業経営改善計画認定審査会	B
	実績(人)	258	245	239	241	241		
中山間協定農用地面積	目標値(ha)	1,388	1,401	1,415	1,429	1,443	中山間交付金事業実績報告	A
	実績(ha)	1,374	1,392	1,406	1,522	1,589		
繁殖雌牛飼養頭数	目標値(頭)	4,880	4,960	5,040	5,120	5,200	農協繁殖雌牛増頭運動推進月別実績表(五島市分)	B
	実績(頭)	4,976	5,121	5,115	5,005	4,725		
子牛生産頭数	目標値(頭)	3,950	4,040	4,040	4,120	4,210	登録協会総会資料(五島地区合算)	C
	実績(頭)	3,765	3,878	3,828	4,098	3,754		
地元産木材地元消費量	目標値(m <sup>3</sup> )	1,550	1,600	1,650	1,700	1,800	五島森林組合への照会	A
	実績(m <sup>3</sup> )	1,207	1,576	2,277	1,886	2,326		
地元産木材製材品の島外出荷量	目標値(m <sup>3</sup> )	489	561	582	600	600	五島森林組合への照会	C
	実績(m <sup>3</sup> )	329	331	300	289	293		
担い手への農地集積率	目標値(%)	38.0	40.0	42.0	44.0	46.0	担い手の農地利用集積状況調査	A
	実績(%)	37.7	36.9	40.4	42.0	52.1		
耕作放棄地面積	目標値(ha)	457.0	448.0	438.0	429.0	420.0	農地利用状況調査	A
	実績(ha)	397.1	485.8	433.7	316.8	410.6		
輸送コスト支援事業の出荷量	目標値(t)	6,444	6,571	6,697	6,823	6,950	戦略産品海上輸送費支援事業実績報告	C
	実績(t)	6,082	5,667	6,039	5,839	3,423		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	五島地域元気ある担い手アクション支援事業	認定農業者及び集落営農組織など担い手の確保・育成を図るため、五島地域担い手育成総合支援協議会に対して補助を行う。	五島地域担い手育成総合支援協議会が主となり、効率的かつ安定的な農業経営の育成、認定農業者等の計画的な所得向上を図る。	R4実績 110
				R5実績 110
				R6実績 110
2	畜産クラスター構築事業(牛)	本市基幹産業の核である繁殖牛経営における生産性・収益性の向上を図るため、新規参入又は規模拡大を行う繁殖牛農家に対し、牛舎等の整備、繁殖雌牛の購入に係る経費の補助を行う事業。	繁殖牛農家の新規参入、規模拡大を支援することで、高齢化や後継者不足による繁殖牛農家の減少、繁殖雌牛頭数の減少傾向改善をねらう。	R4実績 159,106
				R5実績 157,847
				R6実績 119,240
3	五島市家畜農協等有導入事業	畜産経営の安定を図るため、繁殖牛を購入し、繁殖牛の維持、増頭を図る繁殖牛農家へ貸し付ける農協等に対し、購入費の補助を行う事業。	繁殖牛農家の繁殖牛頭数維持による経営の安定、又は増頭による規模拡大をねらうもの。	R4実績 14,078
				R5実績 13,428
				R6実績 11,100
4	五島市家畜特別導入型事業	市が繁殖牛を購入し、高齢者を優先として繁殖牛農家に一定期間無償貸与後、譲渡する事業。	繁殖牛農家の経営安定をねらうもの。また、高齢の繁殖牛農家を優先することで、高齢者福祉の向上もねらうもの。	R4実績 18,946
				R5実績 17,521
				R6実績 17,319

5	五島市優良雌牛導入事業	優良な繁殖雌牛の増頭及び子牛価格の上昇のため、繁殖雌牛を購入し、繁殖牛農家へ貸付事業を行うことと農協に対し、購入費の補助を行う事業。	農家の負担が大きい、優良な繁殖雌牛の購入費を補助することで、市内の優良な子牛増頭に繋げ、子牛購買者の誘致、子牛価格の向上、ひいては市内繁殖牛農家の所得向上をねらうもの。	R4実績 3,773 R5実績 4,277 R6実績 4,396
6	戦略産品海上輸送費支援事業(H29～) 輸送コスト支援事業	下記品目の海上輸送費を助成。 ・移出:野菜類(10品目)、いも類(2品目)、鳥獣肉 ・移入:その他の化学肥料、配合飼料 ・助成額:海上輸送費×8/10 ・農水産品の移出及び生産、移出に必要な原材料の移入	五島市が選定した農畜産品の移出及び移出に係る肥料及び配合飼料の移入についての海上輸送費の助成を行うことで、販路拡大や出荷量の増加に繋げ、農業者の所得の向上を図る。	R4実績 176,236 R5実績 171,029 R6実績 154,932
7	輸送コスト支援事業(R元年度～) 林務関係	製材品の島外出荷(移出)にかかる海上輸送費の一部について助成。	市選定の戦略産品(5品目)の移出及び移入に係る海上輸送費の一部助成により本土との格差是正及び、販路拡大や出荷量増加に繋げ産業の活性化を図る。	R4実績 1,196 R5実績 985 R6実績 968

### 3. 総評

①繁殖雌牛飼養頭数及び子牛生産頭数については、目標値は下回っているものの、枝肉相場の下落による子牛価格の低迷や配合飼料価格の高止まりなど、繁殖経営への厳しい状況が続く中、畜産クラスター構築事業や各種導入事業などを活用しながら、規模の拡充を図っているところである。

②地元産木材の地元消費量及び製材品の島外出荷については、市内唯一の林業経営体である五島森林組合において森林整備による間伐材を利用したものであるが、令和6年度においては、年間2,912㎡の木材を生産し、そのうち586㎡の製材品を島外へ出荷した。前年度比で約440㎡の増加となっているのはバイオマス材を出荷せずに島内のおが粉生産として島内で消費した。また、地元産木材の島外出荷量が目標に届いていないのは、手遅れ林分の山林を中心に森林整備を実施したため、規格対象となる原木の調達ができなかったことによる。

### 4. 今後の取組方針

①引き続き、補助事業等による繁殖雌牛増頭支援を図りながら、子牛価格低迷や配合飼料価格の高騰への国、県の対策などに注視し、農家の所得向上に取り組む。また、一部一貫経営を推進することで、市場リスクを抑え、経営の安定化を目指す。

②地元産木材の地元消費量及び製材品の島外出荷については、市の補助事業で新たに導入した造林機械等を十分に活用しながらAB材(良質材)の数量確保が可能な間伐箇所の選定し、目標達成に取り組む。また、主伐・再造林にも取り組みながら森林の更新を図り、原木の生産を行っていく。

戦略プロジェクト	I-1	農林業振興プロジェクト	所属課	農林課
重点事業	I-1-2	生産基盤の維持・整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
水田区画整備面積	目標値(ha)	1,077	1,092	1,106	1,121	1,136	R6年度までの基盤整備事業実績(県の集計)	B
	実績(ha)	1,085	1,108	1,107	1,114	1,121		
畑地帯区画整備面積	目標値(ha)	398	405	411	418	425	R6年度までの基盤整備事業実績(県の集計)	C
	実績(ha)	393	393	336	336	341		
林道整備延長	目標値(km)	132	137	142	147	151	市町村別林道延長及び舗装延長内訳表	C
	実績(km)	130	131	131	132	134		
有害鳥獣による農産物被害額	目標値(千円)	8,112	7,947	7,781	7,616	7,450	農協、共済組合、農家への聞き取り調査	C
	実績(千円)	11,171	5,973	3,827	7,137	13,244		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	県営経営体育成基盤整備事業	圃場の区画整備 久賀地区20ha、寺脇地区55ha	小区画の水田を大区画整備による用水の安定確保、水田汎用化、大型機械の導入等による農業経営の規模拡大を図る。	R4実績 60,809
				R5実績 42,538
				R6実績 34,500
2	県営畑地帯総合整備事業	圃場の区画整備 鏡瀬地区31ha、富江・日の出地区28ha	区画整理、農業用排水施設等の基盤整備により畑作農業経営の体質強化及び経営安定等を図る。	R4実績 3,213
				R5実績 1,774
				R6実績 22,085
3	林業専用道川原線開設事業	①W=3.6m L=255m R3線越 ②W=3.6m L=535m	森林所有者による森林整備を促し林業の活性化を図る。	R4実績 58,895
				R5実績 15,241
				R6実績 27,786
4	林業専用道内閣線開設事業	W=3.6m L=66m	森林所有者による森林整備を促し林業の活性化を図る。	R4実績 10,315
				R5実績 10,078
				R6実績 11,159
5	農産物等有害鳥獣対策事業	有害鳥獣(イノシシ・シカ等)の捕獲及び防護対策を行う。(福江島・奈留島・久賀島)	専門業者、猟友会、地域捕獲隊、実施隊員等により市内に生息しているイノシシ・シカ等の捕獲を行い、生息域の拡大及び農林産物への被害を防止する。また、拡散防止柵の設置やICT技術を活用した防護対策により被害を未然に防ぐ。	R4実績 54,903
				R5実績 60,563
				R6実績 68,972

3. 総評

<p>①林道整備について、市の予算に限りがあること、また、労務費や資材の高騰により開設単価が増額したこともあり、目標値に届かなかった。</p> <p>②令和6年度末:久賀地区(R7完了予定)、寺脇地区を整備中(R9完了予定) 進捗率 久賀地区:98%、寺脇地区:81% 事業費単価の高騰などの懸念材料はあるが、進捗としては順調に推移している。</p> <p>③令和6年度末:富江・日の出地区を整備中(R9完了予定) 事業費単価の高騰や表土の確保などの課題はあるが、進捗としては順調に推移している (進捗率 26%)</p>
---

4. 今後の取組方針

<p>①林道整備について、令和6年度に川原線の開設工事が終了し、令和7年度から事業費を増額(50,000千円→60,000千円)して新規に中須線の改築と引き続き、内閣線の開設工事を実施する。</p> <p>②基盤整備について、経営規模の拡大や生産性の向上を図るため、意欲ある地域を中心に整備を推進し、優良農地の確保と農地の集団化・流動化を促進する。本事業に取り組むためには、関係者の合意形成と事業への協力体制が不可欠であることから、将来営農の展望や事業制度の理解を深めるための勉強会等を開催する。</p>
--

戦略プロジェクト	I-1	農林業振興プロジェクト	所属課	農林課
重点事業	I-1-3	地域資源の活用		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
椿油取引業者数	目標値(社)	38	40	42	44	47	市内搾油所への聞き取り	A
	実績(社)	40	42	52	64	63		
椿関連商品の売上額	目標値(千円)	54,509	58,259	62,009	65,759	69,509	市内販売事業者への聞き取り	A
	実績(千円)	41,349	121,051	206,738	415,140	566,317		
学校給食における地場産物(野菜)利用量割合	目標値(%)	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0	教育委員会事務局調査資料	C
	実績(%)	36.0	38.1	31.7	30.3	26.7		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	椿植栽推進事業	椿油の安定生産を図るため、耕作放棄地等に椿を植栽するための苗木の支給と経費の補助をする。	地域資源である椿を植栽し、管理・収穫のしやすい椿を増やし椿油の安定生産を図る。	R4実績 1,001
				R5実績 660
				R6実績 1,251
2				R3実績
				R4実績
				R5実績

### 3. 総評

#### 【椿油取引業者数】

- ①取引業者数としては、R6年度において目標値の134%の達成となった。  
 ②搾油量の減少により取引先が減少した業者が2社、営業により新たな取引先を獲得している業者が2社あった。  
 各搾油業者の椿油生産・在庫数量によるが、椿実の収穫量が増えれば、相対的に搾油量、取引業者数も増加し、数値目標の達成に繋がると考えている。

#### 【椿関連商品の売上額】

- ①売上額としては、R6年度において目標値の815%の大幅達成となった。  
 ②椿関連商品の売上額については増加傾向にあり、7割以上の事業者が昨年度の売上額を上回る結果となった。  
 物価上昇が落ち着けば、今後、更なる売上増加が期待できると考えている。

#### 【学校給食における地場産物(野菜)利用量割合】

地元野菜の利用量の向上は容易ではないが、引き続き利用量の向上を目指した取組を働きかけていく。

### 4. 今後の取組方針

#### 【椿油取引業者数】

地域資源である椿について、今後も自生椿林整備事業、椿植栽事業等で整備した椿林の管理指導に取り組むとともに、高齢等の理由により管理が困難になった椿林を代理収穫につなげ、椿油の安定生産を図り、取引業者数の増加を目指す。

#### 【椿関連商品の売上額】

椿油の安定供給や商談展示会の出展などによる販路拡大のための支援に努めるとともに、今後は、政策企画課、文化観光課等の協力を得ながら、椿関連商品の情報発信を行い、売上増加を目指す。

戦略プロジェクト	I-2	水産業振興プロジェクト	所属課	水産課
重点事業	I-2-1	経営基盤の強化		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
新規就漁者数 (独立型)	目標値(人)	4	4	4	4	4	研修修了生	C
	実績(人)	4	7	3	5	2		
中核的漁業者の 所得向上率	目標値(%以上)	-	-	-	-	10	地域浜プラン	A
	実績(%以上)					98		
マグロ出荷量	目標値(t)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	長崎県水産加工 流通課調査	A
	実績(t)	1,606	2,652	2,111	1,972	2,178		
輸送コスト支援事 業の出荷量	目標値(t)	5,424	5,532	5,643	5,756	5,872	事業実績数値	A
	実績(t)	7,587	8,282	10,093	8,256	9,943		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業 番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	新規漁業就業者育成 確保事業(独立型)	新規就業者のための受け皿 体制づくりや、指導者による 漁業研修期間(最長2年間) の研修生に対する生活支援、 再研修への支援を行う。	漁家子弟やUターン者に漁 業技術を習得させ、地域に根 付くことで、漁業後継者の増 加と漁村の活性化を図る。	R4実績 27,234
				R5実績 25,536
				R6実績 17,589
2	離島漁業再生支援交 付金事業 (漁船取得リース事 業)	新規就業者が研修終了後 に漁業に就業する際に使用 する漁船について、漁協が リース漁船を購入する場合に 支援する。	新規漁業就業者の初期投資 経費を抑え、円滑な漁業への 定着を図るとともに、地域に おいて漁業後継者育成を図 る。	R4実績 37,556
				R5実績 89,350
				R6実績 51,140
3	産官学連携交流事業	長崎大学水産学部に叡知と 五島の豊かなフィールドを連 携させることにより、五島市水 産業の新たな成長に繋げる。	五島市における水産養殖、水 産加工の研究等に取り組み、 五島の水産振興に資する人 材の育成・確保を図る。	R4実績 0
				R5実績 0
				R6実績 0
4	新規漁業就業者漁業 経費支援事業	独立して漁業を開始した者の 円滑な漁業定着と漁業経営 の安定化を目的として、漁業 経営に必要な経費を支援す る。	独立後間もない新規漁業就 業者について、燃油や漁業経 費の支援を行うことで出漁意 欲の向上を図る。	R4実績 5,854
				R5実績 4,400
				R6実績 8,342
5	戦略産品海上輸送費 支援事業費補助金 (H29~) 輸送コスト支援事業	漁獲物の主な出荷先が関西 などの都市圏となり、海上輸 送コストが発生し、販売拡大 に支障を来しており、離島活 性化交付金や国境離島新法 を活用し海上輸送コスト軽減 の支援を行う。	五島市の地域資源を活用し た水産物(生鮮、冷凍もの)の 移出及び移入にかかる海上 輸送費等を支援することで、 農林水産物の競争力の強化 及び販路拡大につなげる。	R4実績 257,519
				R5実績 242,601
				R6実績 268,346
6	五島市マグロ養殖産地育 成事業	五島産養殖マグロの島内流通の 活性化を図るため、「マグロフェ ア」を開催し、五島産養殖マグロ のPRを行うとともに、市民や観光 客への消費拡大を図る。	五島産養殖マグロの島内流通の 活性化を図るため、島内消費拡 大を目的とした「マグロフェア」を 開催し、五島産養殖マグロのPR を行うとともに、市民や観光客へ の消費を促し、五島産養殖マグロ のブランド構築と販売促進を図 る。	R4実績 940
				R5実績 0
				R6実績 0

### 3. 総評

①漁業者の高齢化と減少が進む中、独立型漁業においては、研修制度の内容も改善されており、独立する漁業者は各地に定着している。令和6年度においては研修終了した新規漁業就業者は2名であった。

②平成29年度から新たな取り組みとして「新規漁業就業者漁業経費支援事業」を創設し、独立型漁業に果敢に取り組む新規漁業就業者に対し支援を行うことで、離職防止や経営安定化を図り、漁業就労への意欲を高めた。

③戦略産品(魚介類(生鮮、冷凍もの))の島外出荷量の拡大を図るため、離島活性化交付金を活用し海上輸送コスト軽減の支援を行うことにより、農林水産物の競争力の強化及び販路拡大につながるるとともに、漁業者の所得向上への一助となっていた。平成29年度からは特定有人国境離島地域社会維持推進交付金に切り替えられたことにより、支援が手厚く(補助率が2/3→5/4に拡充、個人事業者の取扱も可。)なったことから、更に多くの魚介類が島外出荷された。

④五島産マグロについては、令和4年度までに参加店13店舗(飲食10店舗、小売3店舗)によるマグロフェアを開催し、島内消費の拡大と島内養殖マグロのPR活動を行うとともに、マグロマップを作成・配付することで、市民及び観光客へのマグロメニュー等のPRを行った。また、飲食店へは、フェア等を通じて取引方法などを説明することで、フェアに限らず飲食店のメニューの拡充等におけるマグロの取引拡大を目指した。飲食店への取引方法の周知が図られ、島内消費の道筋もできたことから、令和5年度は取組を行っていない。

### 4. 今後の取組方針

①IUターン者・漁家師弟に対する新規漁業就業者育成確保事業(独立型)や離島漁業再生支援交付金事業における漁船取得リース事業、漁村支援交付金は、これまでも新規漁業就業者の漁業定着に大きな役割を果たしており効果的な事業である。

また、上記事業に「新規漁業就業者漁業経費支援事業」を組み合わせることで、漁業就業を希望する若者の確保に積極的に取り組み、地域漁業の担い手を一人でも多く確保することで地域活性化を図る。

②戦略産品についての移出及び餌等の移入については、引き続き支援を行っていく。平成30年度から支援額の上限(20,000千円)が設けられ、事業費が抑制されている。雇用条件の改良や拡充などにより上限額への上乗せも可能であることから、各事業所に対して積極的な取り組みを進めていく。

③更なるマグロ養殖基地化を目指すため、関係機関で組織される五島市マグロ養殖産地協議会による赤潮講習会や情報交換等を通じて、養殖マグロの生産基盤の強化と活性化を目指す。

戦略プロジェクト	I-2	水産業振興プロジェクト	所属課	水産課
重点事業	I-2-2	生産基盤の整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
漁港整備改良箇所数	目標値(箇所/年)	0	0.5	0.5	1	1	事業実施漁港数	A
	実績(箇所/年)	2	1	1.5	1	1.4		
藻場の回復面積(累計)	目標値(ha)	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	事業実績集計	A
	実績(ha)	2.4	13.8	18.2	21.5	22.9		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	農山漁村地域整備交付金事業(漁村再生事業、海岸保全事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久賀島漁港(蕨地区)の用地舗装 A=6,132㎡(R2完了)</li> <li>・大浜漁港(大浜・増田地区)の突堤新設、防波堤改良工事 1式(R2~R4完了)</li> <li>・増田漁港海岸の護岸(改良)工事 1式(R3~R5完了)</li> <li>・倭寇漁港(女亀地区)の用地舗装 A=2,060㎡、突堤、護岸、船揚場改良工事 1式(R4~R6完了)</li> <li>・新柗島漁港(伊福貴地区)の防波堤、護岸改良工事 1式、浮さん橋改良 1基(R4~R9予定)</li> <li>・五島西漁港(貝津地区)の岸壁新設、用地新設 A=800㎡、泊地、防波堤、導流堤、護岸改良工事 1式(R6~R10予定)</li> </ul>	<p>【漁村再生事業】 突堤及び岸壁の新設や護岸、防波堤、船揚場、泊地、浮さん橋の改良、用地舗装や防風フェンスの整備などを行い、漁港利用者の安全確保と快適な就労環境の創出及び水産物の生産性の向上を図る。</p> <p>【海岸保全事業】 越波防止を目的とした護岸の改良を行うことにより、背後集落の生命財産を守るとともに、緊急時の道路交通環境の安全性向上を図る。</p>	R4実績 284,985
				R5実績 239,494
				R6実績 201,241
2	五島市藻場回復等総合対策事業(五島市磯焼け対策人材育成事業)	民間事業者等が持つ新しい藻場回復技術を公募のうえ実践し、その効果を総合的に検証する。また、検証された藻場回復技術を市内各地域に普及させる。	市内各地域の実態に適応した藻場回復手法を普及し、藻場の維持・回復を図る。 磯焼け対策五島モデルの普及・横展開により、磯焼け対策の普及を図ることを目的として磯焼け対策人材育成事業を実施する。	R4実績 9,986
				R5実績 9,991
				R6実績 11,454
3	離島漁業再生支援交付金事業(磯焼け対策、イカ柴産卵床設置等)	市が策定する漁業集落活動促進計画の内容に基づき、集落協定を締結した漁業集落に対し集落活動を支援する。	集落構成員が漁場の生産力向上や創意工夫を活かした取組を実施することで、漁業活動が継続展開され、漁村が活性化される。	R4実績 151,722
				R5実績 149,439
				R6実績 139,010
4	五島市藻場を活用したカーボンニュートラル促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五島市の藻場状況について研究を行い、CO<sub>2</sub>削減を促進する上での課題抽出、調査研究活動を実施。</li> <li>・企業努力で削減できないCO<sub>2</sub>排出量を藻場再生活動への出資により相殺するクレジット認証制度についての調査研究を実施。</li> <li>・植食性生物の駆除活動や母藻の供給活動など実績のある「五島モデル」を他地区へ横展開するとともに「磯焼けバスターズ」を形成し、地区を超えた磯焼け対策を実施。</li> </ul>	五島市では、磯焼けと呼ばれる藻場の消失現象が続いている。藻場は多くの水生生物の生活を支え、産卵や稚仔魚に生育の場を提供する役割があり、またCO <sub>2</sub> を吸収し固定する効果はブルーカーボンと呼ばれ、新たなCO <sub>2</sub> 吸収源として期待されている。藻場再生活動により、持続可能な海洋資源の確保を図る。また、再生した藻場が海底に蓄えるブルーカーボンを活用して、藻場再生活動の財源に補填する。	R4実績 8,296
				R5実績 6,878
				R6実績 8,613

5	漁港施設機能強化事業	・倭寇漁港(坪地区)の護岸改良工事 1式(R5~R8予定)	【漁港施設機能強化事業】 護岸の改良、消波ブロック(嵩上げ)の整備などを行い、漁港施設の防災及び安全を確保し、漁業活動の安全性の向上を図る。	R4実績 0 R5実績 63,482 R6実績 89,536
6	漁港機能増進事業	・山下漁港の物揚場改良工事 1式(R5~R6完了)	【漁港機能増進事業】 物揚場の改良を行い、漁港施設の利便性及び漁業活動の安全性の向上と漁業従事者の軽労化を図る。	R4実績 0 R5実績 39,956 R6実績 51,227

### 3. 総評

①漁協からの要望を受け、毎年1漁港以上の改良事業に取り組んでいる。令和2年度は久賀島漁港を完了、令和3年度は継続して大浜漁港を実施し、増田漁港海岸に着手、令和4年度は継続して大浜漁港を実施(完了)し、新規に倭寇漁港、新椀島漁港に着手、令和5年度は継続して増田漁港海岸、倭寇漁港、新椀島漁港を実施し、増田漁港海岸を完了、新規に山下漁港に着手、令和6年度は継続して新椀島漁港、山下漁港、倭寇漁港を実施し、山下漁港を完了、新規に五島西漁港に着手することができた。

②磯焼け対策は漁場環境の回復を目指すためにも必要な施策の一つとなっている。平成30年度に五島市磯焼けアクションプランを作成しており、本計画の確実な実施に向け、漁業者、漁協、民間事業者等が連携し取り組んでおり、計画以上に藻場面積の回復が進んでいるところである。

### 4. 今後の取組方針

①令和6年度は、5漁港(継続4、新規1)を実施予定であり、令和6年度~令和10年度の5箇年で6漁港の実施を計画している。

②磯焼け対策は、これまで地域に応じた藻場回復手法のマニュアルである五島市モデルに沿った普及・取組による藻場の面積拡大及び人材育成を行った。令和7年度から令和10年度までの4ヶ年においては、磯焼け対策の継続と調査、駆除魚の漁獲情報収集・解析・課題検討、ブルーカーボン認証率向上のための調査、低・未利用資源の利活用化と海藻種苗基地づくり及び藻場(磯焼け)の情報発信等を推進する。

戦略プロジェクト	I-2	水産業振興プロジェクト	所属課	水産課
重点事業	I-2-3	加工品開発と販売・地産地消の推進		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
新たな加工・販売施設の整備件数(累計)	目標値(件)	6	7	8	9	10	事業実績集計	A
	実績(件)	4	9	9	11	11		
五島への匠の人数(累計)	目標値(人)	20	23	26	28	30	五島へ会からの報告	B
	実績(人)	21	23	25	28	29		
漁師食堂の利用者数	目標値(人)	4,300	4,600	4,900	5,200	5,500	事業者からの報告	C
	実績(人)	2,043	565	1,296	50	0		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	五島鮮魚出荷技術向上対策事業(五島へ)	鮮魚の鮮度保持に高い知識と技術を有すると認められる者を「五島への匠」として認定し、その認定者が基準に則した鮮度保持方法を行った鮮魚を「五島へ」として販売する。	「五島への匠」として人を認定することによる差別化でブランド化を図り、販路拡大と所得向上につなげる。	R4実績 1,857
				R5実績 1,340
				R6実績 156
2	大都市圏販路拡大事業	東京・福岡事務所と連携し、未利用魚を含めた水産物(加工品含む)の総合的な魅力発信と認知度向上及び販路拡大に取り組み、都市部での営業活動を強化する。	東京・福岡事務所との連携を図ることで、大都市部での新たな販路開拓が進められることにより、漁家所得向上につなげる。	R4実績 1,249
				R5実績 691
				R6実績 645

### 3. 総評

①令和6年度では、講習会や鮮度技術の開発などの研修活動を行い、技術の向上に努めた。販路拡大については、試験的にジャカルタ(インドネシア)への輸出を行った。次年度は、ジャカルタ輸出をメインとして、引き続き漁協職員を含めた認定者の拡大や販売体制の構築に努めたい。

②磯焼け対策の一環として、未利用魚の商品化を図るため、加工品の研究を行った。漁協婦人部や民間事業者との協力による試作品が磯焼け勉強会の参加者より高評価を得ることができた。

③都市部への販路拡大については、東京・福岡事務所と協力し、飲食店を中心に営業を進めている。取引件数を増加できるように営業活動を継続する。

④漁師食堂は、平成30年度は4,091名の受入を行い、旅行業の関係者からも高評価を受け、令和元年の12月まで順調に利用者も拡大していたが、コロナの影響から令和2年の1月を境にキャンセルが相次いだ。令和4年度もコロナの影響からの完全なる回復には至っておらず、令和4年度は約1300人の受入にとどまった。また、令和5年度及び令和6年度は経営者の体調不良もあり受入が減少した。

### 4. 今後の取組方針

①五島への取り組みと大都市圏における販路拡大事業については、水産物の付加価値化を図るためのブランド化や販路拡大に無くてはならない取り組みであるため、五島へについては匠の育成を、販路拡大については五島へで処理された鮮魚を中心とした商談を引き続き進めていく。また、長崎大学の協力を得たことで鮮度の数値等による差別化を図る。

②未利用魚については、試作品が高評価を得ることができたため、学校給食への提供について、教育委員会と協議を進めていく。

③五島鮮魚のブランド化については、引き続き市場意見等を聞きながら、関係機関と協議し、魚価高騰に向けた取り組みを検討していく。

④漁師食堂は、コロナの影響から厳しい状況となっているが、旅行会社や観光部署との連携を図りながら、営業活動等への支援を行っていく。

戦略プロジェクト	I-3	物産・ブランド振興プロジェクト	所属課	文化観光課
重点事業	I-3-1	ブランド化支援		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
五島市物産振興協会の売上額	目標値(千円)	335,000	342,000	348,500	355,000	362,000	市物産振興協会実績報告書	C
	実績(千円)	257,853	194,119	197,548	162,968	152,615		
前年度と比較して売上高が増加した五島市物産振興協会会員の割合	目標値(%)	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	各物産事業者への聞取り	C
	実績(%)	10.1	66.7	76.3	81.1	57.8		
新たな加工品の開発件数(累計)	目標値(件)	43	53	63	73	80	市物産振興協会及び離創協への聞取り	A
	実績(件)	45	77	84	93	105		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	五島産品プロモーション強化事業	百貨店や飲食店などのバイヤーや料理人を招聘し商談。都市圏での五島フェアの開催を働きかける。	五島市内生産者の販路獲得、売上増加、雇用の拡大を図る。	R4実績 11,495
				R5実績 13,105
				R6実績 18,000
2	五島産品販売促進事業	送料無料・商品代1/3補助した五島産品詰め合わせセットをネットを使い販売	コロナ禍の中、売上が低迷している市内物産事業者の売上確保を図る。	R4実績 11,465
				R5実績 -
				R6実績 -
3	五島フェア開催事業	大都市圏の百貨店、スーパーや飲食店などで、五島の産品を取り扱ってもらうために五島フェアの開催を働きかける。	五島産品を生産または加工販売をしている事業者の五島市外での販路獲得、売上の増加につなげ、雇用の拡大を図る。	R4実績 -
				R5実績 -
				R6実績 -
4	マッチング支援事業	大都市圏及び市外の百貨店等のバイヤーや料理人を招聘し、地元生産者との商談を実施する。	新商品の開発や販路開拓・拡大につなげる。	R4実績 -
				R5実績 -
				R6実績 -

### 3. 総評

①五島市物産振興協会の売上額について、令和6年度は、前年度に比べて、小売販売売上は増加したものの、ほかの事業については減少し、総額も約10,000千円減少した。退職による職員数の減により各事業の規模を維持できなかったことが要因と思われる。

前年度と比較して売上高が増加した五島市物産振興協会会員の割合については、ほぼ横ばいまたは若干下がったという事業者が昨年と比べて多かった。

②新たな加工品開発件数については、島外の食品メーカーやスーパー等とのタイアップもあり目標を上回る結果となった。

### 4. 今後の取組方針

①委託事業による、バイヤー招聘や五島フェアの実施、海外販路開拓も含めた商談会への出展を実施し、五島産品の販路拡大や市内事業者の売上向上を図る。

②商品開発についても、引き続き離島振興地方創生協会を通して島外の食品メーカーやスーパー等とのタイアップを基に新商品を増やしていく。

戦略プロジェクト	I-3	物産・ブランド振興プロジェクト	所属課	文化観光課 政策企画課
重点事業	I-3-2	販路拡大支援		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
大都市圏(東京、福岡)での市産品取引店舗数	目標値(件)	140	142	145	148	150	市物産振興協会への開取り	A
	実績(件)	122	115	121	158	154		
大都市圏(東京、福岡)バイヤー招聘による取引成約件数	目標値(件)	55	56	57	58	60	マッチング支援事業・招聘事業による取引実績	A
	実績(件)	55	42	77	67	64		
集荷システム構築による売上高	目標値(千円)	25,000	28,000	30,000	33,500	37,000	島外への集荷受発注運用事業における売上高	B
	実績(千円)	12,594	10,306	44,208	38,361	35,479		
ふるさと納税返礼品取引額	目標値(千円)	51,000	52,000	53,000	54,000	55,000	財務会計執行状況	A
	実績(千円)	88,360	89,083	205,351	208,438	224,983		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	五島産品プロモーション強化事業	百貨店や飲食店などのバイヤーや料理人を招聘し商談。都市圏での五島フェアの開催を働きかける。	五島市内生産者の販路獲得、売上増加、雇用の拡大を図る。	R4実績 11,495
				R5実績 13,105
				R6実績 18,000
2	島外への集荷受発注運用事業(R5事業名:五島産品出荷受付事業)	市内に構築した集荷システムを運用し、市内から大都市圏までの新たな物流体制を構築する。	輸送費の縮減と安定供給体制の確立を進め、販路拡大を促進する。	R4実績 15,048
				R5実績 15,331
				R6実績 15,678
3	五島フェア開催事業	大都市圏の百貨店、スーパーや飲食店などで、五島の産品を取り扱ってもらうために五島フェアの開催を働きかける。	五島産品を生産または加工販売をしている事業者の五島市外での販路獲得、売上の増加につなげ、雇用の拡大を図る。	R4実績 -
				R5実績 -
				R6実績 -
4	マッチング支援事業	大都市圏及び市外の百貨店等のバイヤーや料理人を招聘し、地元生産者との商談を実施する。	新商品の開発や販路開拓・拡大につなげる。	R4実績 -
				R5実績 -
				R6実績 -
5	ふるさと納税推進事業	五島市を応援したい方々からインターネット上のふるさと納税ポータルサイト内で広く寄附を募るとともに、寄附者に対しお礼品の送付を行う。	寄附金増加による歳入確保、市内事業者の売上拡大及び、寄附金の活用による地域活性化に寄与する。	R4実績 308,551
				R5実績 331,483
				R6実績 349,715

3. 総評

<p>【物産部門】</p> <p>①大都市圏をターゲットにした目標については、五島産品プロモーション強化事業や東京事務所、福岡事務所の営業活動により、目標値を上回ることができた。</p> <p>②集荷システム構築による売上高については、新規業者からの発注はあるが、既存の顧客や卸業者からの発注は2割程減少している状況。</p> <p>【ふるさと納税返礼品取引額】</p> <p>寄附金の総額は令和5年度と比較して21,819千円の減となったが、ポイントを活用した返礼品により、事業者の返礼品取引額は増加した。返礼品取引額は年々増加傾向であり、事業の成果・ねらいである「市内事業者の売上拡大及び、寄附金の活用による地域活性化に寄与する。」については一定の効果があったと評価する。</p>
--

4. 今後の取組方針

<p>【物産部門】</p> <p>①令和7年度以降も、両事務所による営業活動と、市産品セールスプロモーション事業により、販路拡大を図っていく。</p> <p>②集荷システム構築による売上高については、早急に既存顧客からの発注減について原因究明と改善を行うと共に、引き続き市産品セールスプロモーション事業等と連携して新規取引先も増やしていく。</p> <p>【ふるさと納税返礼品取引額】</p> <p>ふるさと納税は財源の限られる地方自治体において、重要な財源であることから、引き続き寄附額の増に向けた取組を図る。寄附額の増は「市内事業者の売上拡大及び、寄附金の活用による地域活性化に寄与する。」ことにも直結する。返礼品の充実、取扱事業者の新規開拓、ポータルサイトを通じた効果的な広告、各種リアルイベントでの広報活動などを実施する。</p>
---

戦略プロジェクト	I-4	企業誘致・地場産業振興プロジェクト	所属課	商工雇用政策課
重点事業	I-4-1	企業誘致と就業支援		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
誘致企業数(累計)	目標値(件)	7	7	8	8	9	㈱ティールHPI、㈱CSプレーナー、㈱シスプロ(H24撤退)、㈱中本製麺、㈱ピーイングDC、NCD㈱	C
	実績(件)	6	6	6	6	6		
誘致企業従業員(正社員)数	目標値(人)	72	78	98	105	128	㈱ティールHPI(19)、㈱CSプレーナー(2)、㈱シスプロ(H24撤退)、㈱中本製麺(6)、㈱ピーイングDC(32)、NCD㈱(11)	C
	実績(人)	76	73	72	68	70		
高校生新卒者地元就職者数	目標値(人)	35	37	39	41	43	五高(1)、五高定時制(0)、海陽(18)、五島南(9)、奈留(0)、鶴南(6)	C
	実績(人)	34	24	23	30	34		
法令に基づく派遣事業実施団体の組織化(累計)	目標値(団体)	0	1	1	1	1	五島市地域づくり事業協同組合	A
	実績(団体)	1	1	1	1	1		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	企業立地及び雇用促進事業	市の指定企業となることで、固定資産税の免除や、雇用助成金の交付を受けることができる。	市内外企業の工場等の立地を促し、雇用の拡大に繋げる。	R4実績 8,850
				R5実績 3,700
				R6実績 0

### 3. 総評

<p><b>【誘致企業数、誘致企業従業員数】</b></p> <p>①誘致企業数は横ばいであり、目標を達成できなかったが、令和5年度から新たに実施している企業誘致プロモーション業務により、企業誘致活動を強化し、行政側から営業をかける取組みを行った。その結果、新たな繋がりができた10社とのWEB面談を実施することができた。令和4年度は5件であった企業の市内視察が、令和5年度は8件(11社)、令和6年度は12件(16社)と年々増加しているため、今後につながる事が期待される。</p> <p>②誘致企業の従業員(正社員)については、横ばい状態であるが、企業側も雇用を増やしていきたいという意向があるため、今後も期待が持てる。また、地域づくり事業協同組合から派遣を受けている誘致企業や、誘致企業間で繁忙期の人員不足の際に協力体制を敷くといった取組みがされていることが、正社員増に繋がらない要因と考えられる。</p> <p><b>【高校生新卒者地元就職者数】</b></p> <p>五島地区若者定着連携促進会議を通して、合同企業説明会(年2回)の開催や、高卒求人確保キャンペーン、地元企業バスツアーを実施している。しかし、どうしても島内に高校以上の進学先がないことから、一旦島を出る生徒が多い現状となっている。そういった状況の中、令和6年度に実施した合同企業説明会は延べ373名が参加し、地元企業も延べ52社が参加した。高卒求人確保キャンペーンについても、全体の求人件数のうち、約94%が7月中旬に提出されており、一定の成果をあげている。地元企業バスツアーでは、26名の生徒と7社の企業が参加した。全国的には、地元就職率が減ってきている中、五島市では、地元就職者が少しずつ増えている。</p> <p><b>【特定地域づくり事業協同組合】</b></p> <p>「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」に基づく特定地域づくり事業協同組合として、令和3年3月12日に長崎県より「五島市地域づくり事業協同組合」に認定を受け、会員企業に対し正規雇用した職員を派遣しており、R6年度末時点で、26の組合員企業、9名の派遣職員が在籍している。</p>
---

### 4. 今後の取組方針

<p><b>【誘致企業数、誘致企業従業員】</b></p> <p>①企業誘致については、長崎県産業振興財団と連携した誘致活動を行うとともに、令和7年度も企業誘致プロモーション業務を活用し、新たな企業との関係構築、企業の市内視察の受け入れを行うことで誘致実現につなげる。</p> <p>②従業員については、市内で開催される企業説明会などへの積極的な参加を促すとともに、中学、高校などへの出前講座による誘致企業の紹介や、企業との情報交換などを行うことで、正規雇用者の増につなげる。また、Nびかの取得を薦めることで、労働環境の向上を促し、就職先として選ばれる企業となるよう取組む。</p> <p><b>【高校生新卒者地元就職者数】</b></p> <p>高校生に響く求人票の書き方や、よりよい職場づくりのために就業規則を整備できるよう、県の事業であるアドバイザー派遣を企業に対して周知し、高校生だけでなく、企業に対しても支援をしていけるよう取組む。</p> <p><b>【特定地域づくり事業協同組合】</b></p> <p>繁忙期等限られた時期に人手が欲しい事業者と、正規雇用を希望する求職者の雇用のミスマッチを解消するために今後も必要不可欠な事業協同組合であるので、国の補助制度を活用しながら、派遣職員及び組合企業を増加させるよう取組む。</p>
---

戦略プロジェクト	I-4	企業誘致・地場産業振興プロジェクト	所属課	商工雇用政策課
重点事業	I-4-2	創業支援・経営力強化		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
起業・創業件数 (累計)	目標値(件)	15	17	19	22	33	雇用機会拡充事業活用 事業者のうち創業した者	A
	実績(件)	22	26	32	36	37		
中小企業振興資金新規貸付による新規雇用者数(累計)	目標値(人)	45	45	45	45	45	中小企業振興資金新規貸付先のうち当年度雇用機会拡充事業実施者	A
	実績(人)	61	66	72	81	88		
経営コンサルタント活用事業所数	目標値(社)	5	6	8	8	10	経営コンサルタント(キャリアコンサルティング)派遣先事業数	A
	実績(社)	未実施	6	30	37	30		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	国境離島地域維持補助金(雇用拡充)	市内での創業及び事業拡大を行う事業者を支援し、雇用創出する。	特定有人国境離島地域における持続的な居住が可能となる環境の整備を図り、雇用を創出する。	R4実績 317,811
				R5実績 256,107
				R6実績 304,474

### 3. 総評

<p><b>【起業・創業件数、中小企業振興資金新規貸付による新規雇用者数】</b></p> <p>①R6年度雇用機会拡充支援事業の創業件数は1件、雇用創出数は1名であったが、近年事業実績件数も含めて減少傾向である。</p> <p>②R6年度中小企業振興資金新規貸付について、活用した事業者数は5社、それに伴う新規雇用者数は7名であった。今後も雇用機会拡充事業等を活用し、創業・事業拡大の支援をしていく。</p> <p><b>【経営コンサルタント活用事業所数】</b></p> <p>R4年度から雇用機会拡充支援事業の実施事業者に対し、事業の実施状況の正確な把握・分析と、それにより洗い出された課題の解決を図り、当初事業計画に沿った事業実施と雇用計画達成に資することを目的に、中小企業診断士等を派遣している。R6年度は、事業実施事業者30社すべてに派遣を実施し、経営指導等を行った。</p>
--

### 4. 今後の取組方針

<p><b>【起業・創業件数、中小企業振興資金新規貸付による新規雇用者数】</b></p> <p>令和7年度第1回採択時点で創業件数1件、雇用創出予定数1名の状況であり、第2回の公募も行うこととしている。今後、起業・創業を目指す事業者等に対して制度の周知を図り、雇用機会拡充事業等を活用することで、起業・創業の促進を図る。</p> <p><b>【経営コンサルタント活用事業所数】</b></p> <p>国からも雇用機会拡充事業終了後のフォローアップ実施について指摘を受けているところであり、引き続き実施していく。</p> <p>雇用機会拡充支援事業を活用した事業者に対し、事業計画に沿った事業実施や雇用達成に向けた翌年度以降のフォローアップは必要であり、国からも指摘を受けているところであるため、R7年度も引き続き特定有人国境離島法に基づく雇用機会拡充事業の調査費を活用して、経営コンサルタント派遣事業を実施する。</p>
---

戦略プロジェクト	I-5	再生可能エネルギー産業・次世代産業創出プロジェクト	所属課	未来創造課
重点事業	I-5-1	再生可能エネルギー産業の創出		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
実証事業数 (累計)	目標値(件)	1	1	2	2	2	①【環境省】低炭素型浮体式洋上風力発電低コスト化・普及促進事業(H28~R2)終了 ②【環境省】潮流発電技術実用化推進事業(H28~R3)終了 ③【環境省】潮流発電による地域の脱炭素化モデル構築事業(R4~R7)	A
	実績(件)	2	2	3	3	3		
浮体式洋上風力発電設備容量(累計)	目標値(MW)	2	2	20	20	20	崎山沖2MW浮体式洋上風力発電所(H28.3月~) 五島沖浮体式洋上風力発電事業(R8.1月予定)	C
	実績(MW)	2	2	2	2	2		
クリーンエネルギー車の普及台数(累計)	目標値(台)	140	145	150	155	160	五島市税務課(軽自動車税登録)及び長崎県税務課(乗用車)の調査	A
	実績(台)	144	146	145	141	174		
再生可能エネルギー関連企業の従業員数(累計)	目標値(人)	89	94	97	100	104	各事業者への聞き取り	B
	実績(人)	89	94	96	107	95		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	電気自動車導入促進事業	五島市EV・ITS実配備促進協議会に対して、急速充電器の設置及び撤去費、電気使用料や修繕料などの維持管理費を助成する。	観光関連事業者等と連携して、電気自動車を活用した環境にやさしい観光先進地を目指すことで観光振興に寄与する。	R4実績 2,276
				R5実績 2,877
				R6実績 4,889
2	雇用機会拡充支援事業	再生可能エネルギー関連企業への事業拡大や新規参入企業に対して、新規雇用者の人件費及び設備費等を支援する。	安定的で良質な雇用機会の増大を促進する。	R4実績 9,000
				R5実績 15,314
				R6実績 3,003

3. 総評

【実証事業にかかる企業数】  
九電みらいエナジー株式会社が事業代表者として環境省より受託している「潮流発電による地域の脱炭素化モデル構築事業」が奈留瀬戸で行われ、海底に国内初となる商用スケールの大型潮流発電機(1,100kW)が設置され実証事業が行われている。

【浮体式洋上風力発電設備容量】  
環境省実証事業後に平成28年3月から商用運転が開始され、五島フローティングウィンドパワー合同会社が維持管理を行いながら稼働している。

【クリーンエネルギー車の普及台数】  
令和6年度より、電気自動車購入費補助金を導入し3名の方に活用いただいた。

【再生可能エネルギー関連企業の従業員数】  
浮体式洋上風力発電事業をはじめ、風車メンテナンスや小売電気事業、太陽光発電のメンテナンスなどで参入企業が増えていたが、浮体式洋上風力発電事業陸上工事の完了に伴い減少傾向にある。

4. 今後の取組方針

【実証事業にかかる企業数】  
環境省「潮流発電による地域の脱炭素化モデル構築事業」(R4~R7)に、九電みらいエナジー(株)を事業実施主体とする提案が採択された。五島市内の電力系統に接続し、実際の送電を行うなど、商用化を目指した実証運転が期待される。

【浮体式洋上風力発電設備容量】  
再エネ海域利用法に基づく事業者が令和3年6月に選定され、8基程度のウィンドファームを建設し、令和6年1月の供用を開始することで工事を進めてきたが、製作中の浮体構造部2基及び建設済みの3基において使用部材の不具合が発見され、再建造することが決定。当初計画を見直し令和8年1月に運転開始予定である。

【クリーンエネルギー車の普及台数】  
本市においては、ゼロカーボンシティ計画に基づき、年度ごとに電気自動車の導入計画を掲げている。また、公用車の更新時に、低燃費車、ハイブリッド車、電気自動車の導入を検討するとしており、今後はガソリン車の更新時に合わせて、原則、電気自動車を導入することとしている。  
また、令和6年度より開始している電気自動車購入費補助金の広報活動を実施し市民の電気自動車購入のきっかけを作っていきたい。

【再生可能エネルギー関連企業の従業員数】  
潮流発電の商用・実用化が実現されればさらに関連企業が増えることが見込まれる。

戦略プロジェクト	I-5	再生可能エネルギー産業・次世代産業創出プロジェクト	所属課	未来創造課 商工雇用政策課
重点事業	I-5-2	次世代産業の創出		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
技術開発等に関する実証事業誘致件数(累計)	目標値(件)	1	1	2	3	4	先端技術開発支援事業選定事業者(R2~R6)	A
	実績(件)	2	4	6	8	9		
ドローン等サービス創出数(累計)	目標値(件)	0	1	1	1	1	(株)そらや そらいいな(株)	A
	実績(件)	0	1	2	2	-		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	再生可能エネルギー分野先端技術開発支援事業	再生可能エネルギー分野において、AIやIoTなどの先端技術を活用した取組を実施する事業者を支援する。	先端技術を活かした新たな産業振興を図る。	R4実績 10,330
				R5実績 14,151
				R6実績 7,500
2	ドローンi-Landプロジェクト	・無人物流実証事業	地域課題の解決の手段として、ドローン等ICT技術を活用する。その先にドローン等による新たな産業及び雇用の創出を図る。	R4実績 13,446
				R5実績 1,052
				R6実績 -
3				

3. 総評

<p>再生可能エネルギー分野先端技術開発支援事業を公募したところ1者の応募があり、先端技術を活用した取り組みを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発電事業者の利益を最大化するためのアグリゲータビジネス向けシステムの開発(日本市場向け及びブラジル市場向け)</li> </ul>
--

4. 今後の取組方針

<p>地方創生推進交付金を活用した再生可能エネルギー分野先端技術開発支援事業については令和6年度で終了となった。</p>
--

基本目標	II	五島の魅力を発信し、世界に誇れる“しま”をつくる	所属課	文化観光課 地域協働課
------	----	--------------------------	-----	----------------

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
観光入り込み客数	目標値(人)	273,000	284,000	292,000	298,000	300,000	五島市観光統計調査	C
	実績(人)	123,703	118,441	166,979	210,067	200,384		
延べ宿泊数	目標値(泊)	191,000	199,000	205,000	208,000	210,000	長崎県観光統計調査	A
	実績(泊)	126,371	141,661	202,489	227,228	221,837		
観光消費額	目標値(億円)	91.0	94.0	97.0	99.0	100.0	五島市観光統計調査	B
	実績(億円)	46.1	44.4	73.2	93.4	90.1		
UIターン者数(ワンストップ窓口利用者数)	目標値(人)	300	300	300	300	300	UIターン者数の実績	C
	実績(人)	204	226	252	272	222		

### 2. 総評

#### 【観光入り込み客数】

前年(令和5年)の五島が舞台となった連続ドラマ放送等の効果の反動減や、海上タクシーを利用した世界遺産周遊を含むツアーの減少により、前年と比べて9,683人の減(▲4.6%)となり、過去最高であった令和元年の約8割となった。

#### 【延べ宿泊数】

前年と比べて5,391人の減(▲2.4%)となった。観光入込客数が令和元年及び令和5年と比べ減少したことが要因である。

#### 【観光消費額】

物価上昇等に伴う観光に要する費用の高騰が継続したものの、令和6年の観光入込客数が前年を下回ったことにより、前年比で約3億3,400万円の減(▲3.6%)となった。

#### 【UIターン者数(ワンストップ窓口利用者数)】

コロナが開けた令和4年度、5年度は、目標達成に向けて順調に数字が伸びていたが、令和6年度は222人で、前年と比較して▲50人(▲18.4%)の減少となった。明確な要因は分析できていないが、年代別の移住者数は、ターゲットとする40歳未満の移住者数が119人で全体の53.6%と大幅に減少していることから、都市部における若年層の求人増や所得増の報道等が影響し、都市部回帰の流れが強まったと感じる。しかしながら、都市部での移住相談会や移住イベントにおける当市への関心度は他自治体と比較して高いので、丁寧な対応で移住につなげたい。

### 3. 今後の取組方針

#### 【観光入り込み客数、延べ宿泊数、観光消費額】

メディア露出により五島市の知名度も高まっていることから、引き続き観光PRの展開を行い、観光入り込み客数の増加を図る。

滞在型観光推進事業により、滞在泊数の延長を促進し、富裕層向け旅行商品の展開やインバウンド向けの施策により、観光消費額の増加を図る。

#### 【UIターン者数(ワンストップ窓口利用者数)】

引き続き、都市圏での移住相談会やオンライン移住相談会を計画的に実施する。

SNSを活用して若い世代への情報発信を強化する。また、移住サイトを五島市公式HPまるとのCMS内から、よりアクセス数が多い観光サイトと同サーバー内に再構築し、移住漠然層、さらには観光客の流入を図る。

戦略プロジェクト	II-1	観光による交流拡大プロジェクト	所属課	文化観光課
重点事業	II-1-1	五島の魅力を活かした旅行商品・体験プログラムの造成		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
世界遺産関連ツアーへの参加者数	目標値(人)	3,700	3,800	3,870	3,940	4,000	世界文化遺産ツアー「五島列島キリシタン物語」参加者数	C
	実績(人)	1,037	1,072	2,006	1,763	2,064		
着地型旅行商品の利用客数(年度)	目標値(人)	7,300	7,500	7,700	7,850	8,000	上記キリシタン物語、鬼岳星空ナイトツアー、定期観光バスの参加者数	C
	実績(人)	3,355	3,350	6,543	6,391	6,631		
宿泊客1人あたりの延べ宿泊数	目標値(泊)	1.47	1.50	1.53	1.56	1.60	市観光統計	A
	実績(泊)	1.64	1.93	1.70	1.59	1.65		
民泊許可軒数	目標値(軒)	160	163	166	168	170	保健所許可件数	C
	実績(軒)	162	146	143	140	138		
常時受入可能な民泊軒数	目標値(軒)	80	85	90	95	100	受入実態調査	C
	実績(軒)	85	77	78	52	55		
教育旅行受入人数	目標値(人)	4,350	4,500	4,650	4,830	5,000	市観光統計(修学旅行)	C
	実績(人)	530	407	298	1,674	2,001		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	おもてなしのしま五島プロジェクト事業	「五島列島おもてなし協議会」において、着地型観光商品の造成や、新しい観光素材の開発、ガイド向け研修、実証ツアーなどを実施する。	滞在型観光の推進による宿泊促進及び交流人口の拡大を図る。	R4実績 11,737
				R5実績 17,229
				R6実績 8,786
2	体験型観光推進事業	体験型教育旅行の受入システム及び特色のある体験プログラムの充実を図ることで稼ぐ仕組みを構築する。	体験型観光による交流人口の拡大を通して地域経済の活性化及び体験型観光の産業化を図る。	R4実績 16,217
				R5実績 10,935
				R6実績 11,957

3. 総評

<p>①世界遺産関連ツアーを含む着地型旅行商品及び教育旅行の受入人数については、令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を下回ったものの前年と比較すると回復の兆しが見られた。</p> <p>②宿泊客1人あたりの延べ宿泊数については、1.65泊となり、前年と比べて0.06泊の増加(+3.8%)となった。 一棟貸やゲストハウス等、長期滞在向けの宿泊施設が増えたことにより、平均宿泊数が延びたと推測する。</p> <p>③修学旅行の受入人数については、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、受け入れ方針を見直し民泊受入を実施している。令和6年は前年と比べてと327人の増加(前年比20%増)となった。</p>
---

4. 今後の取組方針

<p>①世界遺産、日本遺産、日本ジオパークなどを組み合わせた旅行商品の造成に取り組み、新たな誘客とリピーターの獲得を図るとともに、ゴルフやヨットなどの着地型旅行商品を磨き上げ、長期滞在につなげる。また、五島市を舞台とする映画やドラマ、情報番組などのロケ誘致を推進し、制作会社や地元関係者と連携しながら、効果的な情報発信を行う。</p> <p>②教育旅行についても、全国的に民泊への関心が高まっていることから、民泊許可軒数拡大などの受入体制の整備に加え、五島市独自の強みや戦略的な営業を強化し、次年度以降の受入校数の増加に努める。</p>
--

戦略プロジェクト	II-1	観光による交流拡大プロジェクト	所属課	文化観光課
重点事業	II-1-2	ジオパークの仕組みを活かした取り組み		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
講座及びジオツアー参加者の満足度	目標値(%以上)	60	65	70	75	80	参加者へのアンケート又は聞き取り	A
	実績(%以上)	100	94.9	94.3	87.9	88.6		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	ジオパーク推進事業	ジオツアーや市民向け講座の実施、ジオガイドの活用、学校でのジオパーク学習の実施、情報発信、研究者による調査研究の支援、地域活動の支援など。	講座や学校での授業、情報発信を通じ地域資源の価値の理解が進み、住民による活動や企業によるツアー実施など、ジオパークを活かした取組を増やす。	R4実績 15,907
				R5実績 9,583
				R6実績 27,963
2				R2実績
				R3実績
				R4実績

### 3. 総評

数値目標については、継続して目標を上回る成果が出ており、満足度の高い内容を提供できている。取り組み全体に関しては、令和5年度は活動の拠点となる銚子ビジターセンターがリニューアルオープンし、施設を活かした活動を進めるとともに、基本計画及び行動計画(アクションプラン)に明記する7つの活動を核とし、日本ジオパーク認定時に示された課題の解決に向けた取り組みを進めるなど、ジオパーク活動のさらなる進展を目指した。これにより、地域団体や個人、学校での独自の活動が増えるなど、ジオパークの取り組みが拡充してきた。また、他地域のジオパークや日本ジオパークネットワークとの連携や情報交換により、五島でのジオパーク活動の推進につなげた。

#### [主な事業実績]

- ・ジオガイドのスキルアップ研修(2回/15名)、学校での学習サポート(8回)
- ・ジオパークの仕組みを活かしたツアーの企画・催行(93回/221人※うち市外参加者133人)
- ・ジオパーク認定商品の認定(2商品認定/計8商品)
- ・ジオパーク普及啓発イベントの実施  
[工作体験、生き物観察、海岸清掃、ブース出展など](21回/531人参加)
- ・学術研究の支援(3名の研究者による調査研究及び研究成果発表会の実施)
- ・他地域のジオパークと連携事業等(地域間交流)  
⇒全国大会・全国研修会への参加、日本地形学連合秋季学術大会(市外から47名参加)

### 4. 今後の取組方針

- ①日本ジオパーク認定時に示された課題の解決を念頭に、基本計画及びアクションプランに明記した7つの活動をベースとしたジオパーク活動の進展を図るとともに、令和7年度に実施される再認定審査に向けた準備を進める。
- ②令和5年にリニューアルオープンした銚子ビジターセンターをジオパーク活動の拠点として活用すべく、体験プログラムや情報発信体制の充実を図る。
- ③他地域のジオパークとの交流や日本ジオパークネットワークが実施する事業への参加を通して、五島市内でのジオパーク活動のさらなる推進を図るとともに、日本国内でのジオパーク活動の発展に寄与する。

戦略プロジェクト	II-1	観光による交流拡大プロジェクト	所属課	文化観光課
重点事業	II-1-3	受入基盤の整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
観光ガイド登録者数	目標値(人)	49	52	55	58	60	ガイド団体等への聞き取り	C
	実績(人)	46	42	47	43	39		
受入のための講習会などの受講者数	目標値(人)	230	235	240	245	250	五島列島おもてなし協議会実施の研修会等及び外国語講座の参加者数	C
	実績(人)	0	59	139	83	60		
世界遺産ガイド登録者数	目標値(人)	22	24	26	28	30	世界文化遺産ツアー「五島列島キリシタン物語」登録ガイド数	C
	実績(人)	16	17	17	17	17		
キャッシュレス設備の稼働事業者数(宿泊施設及び観光協会会員)	目標値(社)	43	51	59	65	72	宿泊施設実態調査、観光協会聞き取り	A
	実績(社)	43	63	95	104	104		
来訪者の満足度	目標値(%)	84.2	85.7	87.2	88.5	90.0	観光客アンケート調査(五島列島おもてなし協議会実施)	C
	実績(%)	0	0	94.5	96.0	79.6		
観光客リポート意向	目標値(%)	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0	観光客アンケート調査(五島列島おもてなし協議会実施)	C
	実績(%)	0	0	79.3	35.9	40.2		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	おもてなしのしま五島プロジェクト事業	「五島列島おもてなし協議会」において、着地型観光商品の造成や、新しい観光素材の開発、ガイド向け研修、実証ツアーなどを実施する。	滞在型観光の推進による宿泊促進及び交流人口の拡大を図る。	R4実績 11,737
				R5実績 17,229
				R6実績 8,786
2				

3. 総評

<p>①ガイド登録者数は、高齢化等の理由によりガイドを辞める方が出てきており、令和5年度から▲4名となり、目標値を下回る結果となった。</p> <p>②講習会受講者数については、旅行会社のガイド依頼が多かったため、講習会への参加が少なくなりました。</p> <p>③キャッシュレスの需要が高まり、キャッシュレス設備の稼働事業者数は目標を上回った。</p> <p>④五島列島おもてなし協議会が実施した観光客アンケート調査によると、来訪者の満足度及び観光客のリポート意向は目標を下回る結果となった。</p>
---

4. 今後の取組方針

<p>ガイドの高齢化、人材不足は喫緊の課題であり、引き続き各ガイド団体等と連携を図りながら、ガイド人材の掘り起こしや育成、ガイド力の向上に取り組んでいく。</p> <p>また、観光客のリポート意向の獲得のために、旅行形態が個人型に加速して観光客のニーズも多様化する中において、「また五島に行きたい」と思って貰えるように五島の観光の魅力を体験できるコンテンツの磨き上げや、観光客を受け入れる宿泊施設や観光事業者とともに一層のおもてなしの向上に努めていきたい。</p>
--

戦略プロジェクト	II-1	観光による交流拡大プロジェクト	所属課	文化観光課
重点事業	II-1-4	セールス・プロモーション		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
大型船誘致数	目標値(隻)	4	5	5	5	5	大型客船入港実績	A
	実績(隻)	0	0	2	3	5		
外国人観光客数	目標値(人)	1,840	1,880	1,920	1,960	3,000	市観光統計<外国人宿泊客実数>	A
	実績(人)	182	159	264	1,516	2,276		
外国人対応ガイド登録者数	目標値(人)	3	4	4	5	5	ガイド団体等からの聞き取り	C
	実績(人)	3	3	3	3	3		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	外国人観光客誘致事業	旅行会社等との外国人観光客送客に応じた委託業務、旅行会社等への営業活動及びツアー助成支援を実施する。	団体・個人旅行の旅行商品造成及び誘客促進、外国人観光客の増加を図る。	R4実績 409
				R5実績 —
				R6実績 —
2	外国人向け情報発信事業	国際交流員と連携して、自然・歴史文化・体験プログラム等をSNS等により海外に広く発信する。	五島市の認知度向上及びインバウンド需要の拡大を図る。	R4実績 4,999
				R5実績 7,995
				R6実績 —
3	インバウンド誘致業務	ターゲット地域からの誘客に実績のある旅行会社、メディア等のうち国内にその拠点のあるものを招致する。	五島市の強みとなる観光資源の磨き上げや、情報発信、受入環境の整備を図る。	R4実績 3,000
				R5実績 —
				R6実績 31,692
4	在留外国人モニターツアー事業	在留外国人のうちターゲット地域からの訪日旅行に詳しい専門家やインフルエンサーを対象に招聘旅行を実施する。	参加者のSNS等発信により五島市の認知度向上を図るとともに、五島市の受入環境等に係る課題を抽出する。	R4実績 —
				R5実績 —
				R6実績 —
5	大型客船誘致事業	五島市内に寄港する大型客船のクルーズ事業者へ経費の支援を実施する。	五島市内への寄港を促進し、交流人口の拡大、島内周遊及び島内消費の増加により、観光物産の振興を図る。	R4実績 518
				R5実績 515
				R6実績 338

### 3. 総評

①大型客船は、令和6年度に10隻の入港を予定していたが、悪天候により5隻の入港となったものの、前年度より大型客船の入港数は増加した。

②外国人観光客については、日本全体への訪日外客数が過去最高となったことに伴い、本市への来島者も令和元年を超え、過去最高となった。

### 4. 今後の取組方針

①大型客船誘致について、長崎県クルーズ振興協議会や船舶会社及び旅行会社との連携を強化して、五島市大型客船誘致補助金制度の紹介や活用をしていく。

②外国人観光客については、日本全体への訪日外客数が過去最高となったことに伴い、本市への来島者も令和元年を超え、過去最高となる見込であることをふまえ、県と連携を図りながら欧米豪や東アジアのターゲットごとに当市の魅力を発信する。

また、市内事業者との連携を強化し、インバウンド受入体制を充実させるとともに、宿泊施設等の各種表示等(パンフレット、リーフレット等、自社サイト)の多言語化を図る。

戦略プロジェクト	II-2	UIターン促進プロジェクト	所属課	地域協働課
重点事業	II-2-1	受入体制の整備		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
移住相談件数	目標値(件)	462	462	462	462	462	電話、メール、窓口、オンライン相談の総計	A
	実績(件)	364	500	622	598	743		
空き家バンクの成約軒数	目標値(軒)	33	33	33	33	33	空き家バンク成約の実績数	A
	実績(軒)	41	31	52	55	48		
移住者の5年間定着率	目標値(%)	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	定着者数939人を移住者数1,176人で除した割合	B
	実績(%)	80.2	83.2	81.8	81.6	79.8		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費	R5総事業費	R6総事業費
				R4実績	R5実績	R6実績
1	空き家活用促進事業補助金	移住希望者へ空き家の情報を提供する「五島市空き家バンク」へ登録された物件の改修等に要する経費の一部を助成する。	移住希望者への住まい支援策を強化することにより、本土と比較して地理的環境が悪い離島においても移住しやすい環境を整備する。	R4実績 20,278	R5実績 14,640	R6実績 9,284
2	子育て世帯等移住促進事業補助金	定住する意思をもって転入する子育て世帯等を助成する。	移住希望者への住まい支援策を強化することにより、本土と比較して地理的環境が悪い離島においても移住しやすい環境を整備する。	R4実績 3,672	R5実績 3,615	R6実績 709
3	奨学金返還支援助成金	五島市で就労する35歳未満の方の奨学金の返還費用の一部を助成する。	若年層の定住の促進及び市内の産業を担う人材の確保を図り、人口減少対策を推進する。	R4実績 17,451	R5実績 22,406	R6実績 25,725
4	移住希望者定住支援補助金	移住を希望する方が五島市内での就職面接や起業調査を行う場合の旅費の一部を助成する。	UIターンによる転入者の増加を図る。	R4実績 889	R5実績 291	R6実績 758
5	移住支援金(わくわく地方生活)	東京圏から移住した方に、長崎県が定める移住支援事業、マッチング支援事業及び創業支援事業に基づく移住支援金を交付する。	五島市への移住及び定住の促進並びに中小企業等における人手不足の解消を図る。	R4実績 5,000	R5実績 13,900	R6実績 15,000

### 3. 総評

<p>①移住相談については、ふるさと回帰支援センターや長崎県(ながさき移住サポートセンター)主催の移住相談イベントに参加したり、五島市単独の移住相談会を開催するなど、計画的に実施移住相談件数を延ばすことができた。また、イベントでのファーストタッチからオンライン移住相談への誘導など移住漠然層から具体的検討をされる方のフォローの体制ができています。</p> <p>②空き家バンクの運營業務の民間委託が軌道に乗り連携がスムーズになった。固定資産税の納付書封筒に空き家バンクのシール貼付の継続やケーブルテレビ、FMラジオ等を活用した周知活動を実施し登録件数を増加したことが成約件数の目標達成につながった。</p>
---

### 4. 今後の取組方針

<p>①移住相談会、オンライン移住相談の計画的実施を継続する。</p> <p>②空き家バンク登録の増加の取組として、地域おこし協力隊を募集中。リフォーム補助金、家財処分補助金の周知、活用相談を強化して、新たな物件の発掘に取り組む。</p> <p>③子育て世代を中心とした孤立による不安を解消するために、移住者同士や地域の方との交流の機会をNPO法人、まちづくり協議会等と連携して情報提供し定着につなげる。</p>
--

戦略プロジェクト	II-2	UIターン促進プロジェクト	所属課	地域協働課
重点事業	II-2-2	情報発信・プロモーションの推進		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
40歳未満のUIターンの移住者数	目標値(人)	225	225	225	225	225	UIターン者数の実績	C
	実績(人)	158	156	185	172	119		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	子育て世帯等移住促進事業補助金	定住する意思をもって転入する子育て世帯等を助成する。	移住希望者への住まい支援策を強化することにより、本土と比較して地理的環境が悪い離島においても移住しやすい環境を整備する。	R4実績 3,672
				R5実績 3,615
				R6実績 709
2	奨学金返還支援助成	五島市で就労する35歳未満の方の奨学金の返還費用の一部を助成する。	若年層の定住の促進及び市内の産業を担う人材の確保を図り、人口減少対策を推進する。	R4実績 17,451
				R5実績 22,406
				R6実績 25,725
3	移住希望者定住支援補助金	移住を希望する方が五島市内での就職面接や起業調査を行う場合の旅費の一部を助成する。	UIターンによる転入者の増加を図る。	R4実績 889
				R5実績 291
				R6実績 758

### 3. 総評

①移住者全体における40歳未満の割合が大幅に減少した。都市部の若い世代の求人増や所得増などの報道等により都市部回帰の流れが強まったと感じる。

②子育て世帯等移住促進事業補助金(引っ越し助成)の利用の減少は、対象世帯の減少が大きな要因ではあるが、利用率減少の要因を検証する必要がある。

※利用世帯数/対象世帯数(利用率〇〇%)

R4:27/41世帯(65.8%)、R5:25/42世帯(59.5%)、R6:6/28世帯(21.4%)

### 4. 今後の取組方針

①引き続き、都市圏での移住相談会やオンライン移住相談会を計画的に実施する。

②SNSを活用して若い世代への情報発信を強化する。

③全国の自治体が移住促進施策を強化する中で、五島市の移住情報に触れる機会を如何に創出するかという視点が必要と思われる。移住漠然層、さらには観光目的の方の移住サイト流入を目的として、五島市公式HPまるごとのCMS内から観光サイトとの連携を強化するため、移住サイトを再構築して移行する。

戦略プロジェクト	Ⅱ-3	スポーツを通じた交流拡大プロジェクト	所属課	スポーツ振興課
重点事業	Ⅱ-3-1	誘致活動の強化		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
スポーツ合宿延べ団体数	目標値(団体)	124	126	128	130	130	五島市での合宿実施団体数	C
	実績(団体)	33	36	76	61	78		
スポーツ合宿延べ宿泊数	目標値(人)	4,560	4,640	4,720	4,800	4,800	五島市での合宿実施団体延べ宿泊数	C
	実績(人)	1,588	2,470	3,568	2,986	3,420		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	スポーツ合宿団体の誘致活動事業	小中高校生の夏・春・冬休み期間の合宿及び実業団の合宿誘致に向けて、学校、大会等へ出向き営業を行う。	新規及び継続団体に対して情報提供等を行うことで合宿の誘致を図る。	R4実績 1,025
				R5実績 1,140
				R6実績 1,299
2	長崎県スポーツコミッションとの連携事業	大学、実業団、プロ等を誘致する長崎県スポーツコミッションと連携して誘致活動やスポーツ合宿に係る経費の補助を行う。	大学、実業団、プロ等の増加を図り、普段見ることのできないトップアスリート等の練習を見ることにより競技力の向上を図る。	R4実績 1,350
				R5実績 605
				R6実績 609
3	スポーツ交流人口拡大推進事業	スポーツ合宿に係る宿泊・交通費の一部補助や合宿環境の支援等を行う。	スポーツ合宿に伴う経費等の支援により実施団体の増加を図ることで、地域間交流を促進し、市内スポーツの競技力向上と経済の活性化を図る。	R4実績 12,224
				R5実績 11,099
				R6実績 11,916

### 3. 総評

令和6年度は、目標達成には至らなかったが、デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進)事業を活用し、スポーツ合宿の誘致・受入活動を行った結果、全日本実業団対抗女子駅伝競走大会(クィーンズ駅伝)にも出場している「スターツ陸上競技部」を含む新規4団体の誘致につながり、今後の展開に向けて、一定程度の効果があったものと思料する。

	受入団体数	延べ宿泊数
R01	125団体(1,954人)	5,423泊
R02	33団体(429人)	1,588泊
R03	36団体(644人)	2,470泊
R04	76団体(1,262人)	3,568泊
R05	61団体(1,018人)	2,986泊
R06	78団体(1,223人)	3,420泊

### 4. 今後の取組方針

年間を通して(特に閑散期の1月～3月)合宿のため来島している競技団体や大学等と連携し、競技者や顧問同士の横の繋がりを生かした効果的な誘致活動を実施する。  
また、新たな合宿団体を獲得するため、令和7年度末に完成、翌令和8年度から供用開始予定のクロスカントリーコースを効果的にPRすることで、既存団体の定着化や新規団体の獲得に繋げていく。

戦略プロジェクト +A1:AH28ト	Ⅱ-3	スポーツを通じた交流拡大プロジェクト	所属課	スポーツ振興課
重点事業	Ⅱ-3-2	スポーツ施設等の充実		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
スポーツ施設利用者数	目標値(人/日)	1,238	1,256	1,273	1,291	1,309	各スポーツ施設の1日あたりの利用実績の合計	C
	実績(人/日)	742	951	1,010	927	853		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	五島市中央公園長寿命化事業	国の補助事業を活用して施設・設備の改修等を行う。	市民及びスポーツ合宿団体の利便性の向上を図る。	R4実績 7,658
				R5実績 28,867
				R6実績 169,448
2				
3				
4				
5				

### 3. 総評

市民のスポーツ活動の拠点となっている中央公園については、長寿命化計画を策定し、国の社会資本整備総合交付金を活用して老朽化した施設・設備の計画的な改修を行っている。令和6年度は、非常用電源設備、遊戯施設等を整備した。  
市全体におけるスポーツ施設の利用者数については、コロナが収束し、右肩上がりとなっている。

### 4. 今後の取組方針

令和7年度には、市民体育館の外壁・屋根等の更新を予定している。  
施設の充実やスポーツ大会の開催、スポーツ合宿誘致を行い、施設利用者の増加に努めていく。  
また、施設・設備の改修については、利用者のニーズを把握し、今後も長寿命化事業等により計画的に実施していく。

戦略プロジェクト	II-3	スポーツを通じた交流拡大プロジェクト	所属課	スポーツ振興課 三井楽支所
重点事業	II-3-3	スポーツを通じた地域振興		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
スポーツ集客イベントへの参加者数	目標値(人)	5,000	5,080	5,160	5,240	5,300	スポーツイベントの参加者数	C
	実績(人)	276	280	441	3,628	3,811		
スポーツ集客イベントの開催数	目標値(大会)	5	6	6	6	6	スポーツイベントの開催数	A
	実績(大会)	2	2	3	6	6		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	五島長崎国際トライアスロン大会事業	日本でも数少ないロングの大会。 ・Aタイプ200.0km(スイム3.0、バイク154.8、ラン42.2) ・Bタイプ124.4km(スイム1.6、バイク101.7、ラン21.1)	トライアスロン競技の普及及びゴールデンウィーク明けの(6月)の集客対策として行う。	R4実績 5,898
				R5実績 12,965
				R6実績 14,093
2	五島列島タヤケマラソン大会事業	マラソン大会の中でも珍しい夏場の夕方にスタートし夕陽を背に走る大会。 ・ハーフ及び5km	島外のランニング愛好者との交流及び夏(8月)後半の集客対策として行う。	R4実績 1,250
				R5実績 2,500
				R6実績 2,500
3	五島つばきマラソン大会事業	椿まつりとタイアップした冬場のマラソン大会。 ・フル(リレー含む)及びハーフ	島外のランニング愛好者との交流及び冬(2月)の集客対策として行う。	R4実績 4,270
				R5実績 3,822
				R6実績 8,157
4	県下リトル少年柔道大会	幼児～小学3年生までを対象とした柔道の県大会として、男女それぞれ団体戦と個人戦を行う。	出場大会数の少ない小学校低学年以下の県大会を開催することで交流人口の増加を図る。	R4実績 30
				R5実績 107
				R6実績 139
5	絶景福江島マラニック大会	スピードは競わず、仲間と会話しながら五島の大地を巡る。	新たなスポーツイベントを開催することで地域の活性化を図る。	R4実績 1,148
				R5実績 1,326
				R6実績 1,568
6	五島列島福江島グラウンド・ゴルフ交流大会	年齢性別を問わず行えるグラウンド・ゴルフを通じて、仲間づくりと交流を深め、スポーツを通じ交流人口を増大させる。	新たなスポーツイベントを開催することで地域の活性化を図る。	R4実績 377
				R5実績 556
				R6実績 681

### 3. 総評

「五島長崎国際トライアスロン大会(パラモンキング)」や「五島列島タヤケマラソン」を開催し、スポーツによる交流人口の拡大に努めた。いまだコロナ禍前の参加者数には及ばないものの、一定程度の集客効果はあったものと思料する。また、「絶景福江島マラニック大会」や、「五島列島福江島グラウンド・ゴルフ交流大会」を前年に引き続き開催することができた。

### 4. 今後の取組方針

①コロナ禍前の参加者を再度呼び戻すとともに、新たな顧客の獲得のため、イベント内容の見直しや充実(コース設定の見直しや熱中症対策など)を図り、積極的に周知・広報に努める。

②3大イベントに次ぐ新たなスポーツ集客イベントの「マラニック大会」や「グラウンド・ゴルフ交流大会」を定着させ、スポーツを通じた交流人口の拡大を図っていく。

基本目標	Ⅲ	安全・安心で住みやすさ日本一の“しま”をつくる	所属課	国保健康政策課
------	---	-------------------------	-----	---------

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
特定健診の受診率	目標値(%)	40.0	53.0	56.0	60.0	60.0	集団・個別健診、人間ドック等受診者/対象者	C
	実績(%)	26.6	35.1	35.9	35.3	37.5		
がん検診受診率	目標値(%)	15.0	17.0	21.0	23.0	25.0	各対策型がん検診・若年乳がん検診・前立腺がん検診全体の平均受診率	C
	実績(%)	12.5	12.6	14.2	13.9	14.9		
住みやすいと感じる市民の割合	目標値(%)	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	市民アンケート	C
	実績(%)	73.6	72.2	69.7	75.4	67.6		

### 2. 総評

#### 【特定健診の受診率】

令和7年4月末現在、令和6年度の暫定値では37.5%となっており、令和5年度の確定値35.3%比較して、2.2ポイント向上している状況。あらゆる機会を捉えて受診勧奨を行った成果と考える。

#### 【がん検診受診率】

令和6年度の受診率は、すべての検診で昨年度より向上した。

#### 【住みやすいと感じる市民の割合】

アンケート結果より、住みにくい理由として、「道路事情や交通の便が悪い」が最も多く、「日常の買い物が不便」、「保険・医療に関するサービスや施設が不十分」、「市内に適切な職場がない」が続く結果となった。

### 3. 今後の取組方針

#### 【特定健診の受診率】

- ・受診券、健康になっGOTOガイド発送(4月)
- ・ICTを活用した受診勧奨通知(5月、8月、11月)
- ・事業所健診(みなし健診)の情報取得(11~3月)
- ・推進員(看護師)の訪問による受診勧奨(通年)
- ・健康セミナー(本5/13、本山6月、崎山7月)での受診勧奨
- ・健康教室(月/2回)での受診勧奨
- ・集団健診の全会場の予約制廃止
- ・若年層の受診強化 20-39歳個別検診を実施
- ・健康になっGOTOプロジェクト(インセンティブ事業)の若年層の当選枠拡大
- ・HP、SNSの活用
- ・商工会を通じて企業800に受診勧奨チラシ配付。

#### 【がん検診受診率】

- ・10月のピンクリボン推進月間における市内各所、美容室への女性デー啓発チラシの配付
- ・市内保険会社との連携による受診勧奨の実施(保険勧誘の際の健康になっGOTOガイドの配布)
- ・奈留医療センターで肺がん検診、胃がん検診(胃内視鏡検査)を開始
- ・胃がん検診(胃内視鏡検査)50歳、68歳の方への受診勧奨ハガキ送付
- ・推進員(看護師)の訪問による受診勧奨(通年)
- ・集団検診の全会場の予約制廃止
- ・HP、SNSの活用
- ・五島保健所管内地域職域連絡協議会「健康づくりニュース」発刊。胃内視鏡検診の特集。
- ・商工会を通じて企業800に受診勧奨チラシ配付。

#### 【住みやすいと感じる市民の割合】

アンケート結果を全課に共有し、事業実施及び施策立案等の際の参考データとする。

戦略プロジェクト	Ⅲ-1	健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト	所属課	地域協働課、各支所、政策企画課
重点事業	Ⅲ-1-1	地域コミュニティの維持・活性化		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
新たな地域課題解決に向けた取り組み	目標値(件)	39	39	39	39	39	地域の特性を活かしたまちづくり活動件数	A
	実績(件)	36	37	40	49	59		
地域おこし協力隊の定住率	目標値(%)	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	令和6年度末の地域おこし協力隊退職隊員数30(うち定住者数11)	C
	実績(%)	50.0	45.8	44.4	35.7	36.7		
地域課題解消に向けた大学との連携事業数	目標値(事業)	11	12	13	14	15	・しまなひプログラム ・寄附講座「離島へき地医療学講座」 ・長崎大学歯学部と五島市の歯科保健に係る連携・協力 ・長崎大学 離島医療・保健実習 ・探究学習を通じた島の子どもと大学生との交流促進事業 ・共立女子大学との連携事業(2プログラム) 他3事業	A
	実績(事業)	4	6	11	15	15		
五島日本語学校留学生数	目標値(人)	50	100	100	100	100	令和6年4月在籍者数(4期生40名、5期生49名)	B
	実績(人)	16	43	62	99	89		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	地域の絆再生事業	地域住民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、住民同士が互いに支え合う「地域の絆」の再生を図るとともに、市民力を結集し、地域の特性を活かしたまちづくりを推進する取組を展開する。	まちづくり協議会自らの計画に基づく地域づくりを實踐し、住民自治を実現する。	R4実績 35,317
				R5実績 35,053
				R6実績 37,758
2	集落支援員事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会事務局運営</li> <li>・地域住民の意見収集</li> <li>・地域の状況調査、課題整理</li> <li>・地域の課題解決</li> </ul>	五島市地域の絆再生事業交付金事業の全地区実施に伴い、各地区に集落支援員を配置し、それぞれ「まちづくり協議会」の事務局を担いながら集落の課題解決に向けた活動を行う。	R4実績 3,888
				R5実績 5,137
				R6実績 46,540
3	地域おこし協力隊事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり対策(社会福祉課)</li> <li>市内のひきこもり状態にある方や家族の相談、サポート及びひきこもりに関する啓発活動</li> <li>・奈留高校離島留学生寮運営、学習塾運営、多世代交流事業の企画、実施(総事業費については、奈留支所振興プロジェクトの奈留高校離島留学生支援業務委託費13,532千円を含む)</li> </ul>	都市部の意欲ある人材を積極的に受け入れ、新しい視点や発想によって新たな価値の創出や地域の活性化を図ることを目的として、地域おこし協力隊を配置する。また、地域協力活動を通じて、任期終了後の地域への定住定着を図る。	R4実績 15,875
				R5実績 17,882
				R6実績 31,288
4	とんめこみゆ×2まつり事業【富江支所】	スポーツレクリエーションにより地域の交流の場を創設する。	地域主導型で地域の賑わいを創り、市民の健康意識の向上を図る。 ※令和2~4年度は新型コロナウイルスのため中止。	R4実績 -
				R5実績 67
				R6実績 129
5	五島つばきマラソン大会【三井楽支所】	五島市の冬の一大イベントとして、長崎県内唯一のフルマラソン大会を開催する。	市民のスポーツに対する関心及び意識の向上を目指し走競技の普及拡大を図る。交流人口の拡大により市の活性化と市民総参加による連帯感と親睦を図りながら、五島市の冬の一大イベントとして島内外の交流の場を提供する。	R4実績 4,270
				R5実績 3,822
				R6実績 8,157
6	魚津ヶ崎公園花いっぱい事業【岐宿支所】	魚津ヶ崎公園の市有地の花畑を活用し、四季折々の花(菜の花、あじさい、ひまわり、コスモスなど)を育て、市民及び観光による交流の場とする。	魚津ヶ崎花づくり実行委員会との協働により、花の開花時期にあわせ「花まつり」を開催し、各種イベントや出店等により、集客増及び地場産品の消費拡大を図る。	R4実績 2,316
				R5実績 2,276
				R6実績 2,200

7	「奈っじまMAP」データ修正 【奈留支所】	奈留町のオリジナリティーにあふれる「奈っじまMAP」において、前年度中にMAPに記載している内容の変動が頻繁に発生していることから、現状の情報に修正し、奈留島に訪れる観光客の利用に支障なく提供する。	令和3年度版完成 ・日本語 5,000部 英語1,000部 世界文化遺産登録に伴う観光客増及びインバウンド対策として、日本語及び英語版の「奈っじまMAP」を作成する。 ・観光窓口、公共施設等に配布	R4実績 104 R5実績 100 R6実績 145
8	前島地区活性化推進事業 【奈留支所】	過疎化の進む二次離島(前島)で、市内外在住の親子を対象に、参加者(親子)には、親子の絆を新たに認識させるとともに、受入実施団体(前島地区町内会)のスキルの向上や島の活性化を図るため、宿泊を伴うツアー等を実施する。	前島地区の地域活性化を図るため、住民主体の親子キャンプを開催し、交流人口の拡大と交流の促進を図る。 【R1成果】 ・宿泊ツアー:1組2名の参加 ・日帰りツアー:新型コロナウィルス感染症拡大防止策として事業中止 【R2~R4成果】 ・新型コロナウィルス感染症の影響を受け、令和2年度から令和4年度の事業実施を断念。	R4実績 - R5実績 271 R6実績 -
9	文化芸術による地域ブランディング事業 【奈留支所】	地域参加型のワークショップを行い「そらあみ-奈留島」の作成活動や展示を行うことで、文化の継承をはじめ、高齢者の生きがいづくりや多世代間の交流に繋げる。	漁師町である奈留島の文化伝承と交流の促進を目的として、奈留島の島内各地を約2週間かけて巡り、住民や島を訪れた人々など大勢の人の手によって編み上げられた。制作作業は、の場となり、世代を超えた人々が交流する機会となった。 ●R3年度 ■ワークショップ開催日数:13日 15か所 ■参加者数 200名(延べ人数) うち島内179名/島外21名 ■展示場所 江上小学校跡地(23日間) ■来場者数 1,199名 ※事業費 996,052円(市負担金1/2) ●令和4年度 ■ワークショップ開催日数:11日 14か所 ■参加者数 200名(延べ人数) うち島内176名/島外24名 ■展示場所 江上小学校跡地(36日間) ■来場者数 1,749名 ※事業費 1,000,000円(市負担金1/2)	R4実績 1,000 R5実績 1,100 R6実績 1,362
10	奈留島地場産品消費拡大事業 【奈留支所】	奈留島地場産品消費拡大事業を通じて、地場産品の消費拡大及び地域活性化を図ることを目的として事業を実施。奈留島マーケット(福江島で奈留島の物産展)やマグロの解体ショー・即売会を行う経費として、産品まつり実行委員会に対し補助金を交付した。	奈留島地場産品消費拡大事業を通じて、地場産品の消費拡大及び地域活性化を図る。 ●奈留島マーケット 【令和3年度】 開催 令和3年11月27日・28日(2日間) 参加:約1600名 売上:1,799,650円 店舗:10店舗 【令和4年度】 開催 令和4年11月26日・27日(2日間) 参加 約900名 売上 865,650円 店舗 6店舗 ●マグロの解体ショー・即売会 【令和3年度】 開催 令和3年12月18日(1日間) 来場 321名 販売個数:マグロ(250g)単価300円 350パック 即売会売上105,000円 【令和4年度】 開催 令和4年12月3日(1日間) 来場 350名 販売個数:マグロ(250g)単価300円 303パック 即売会売上90,900円	R4実績 1,029 R5実績 1,033 R6実績 624

11	奈留高校離島留学生支援業務委託【奈留支所】	一般社団法人奈留しまなび舎において、地域おこし協力隊が支援している学生寮事業、学習支援事業、多世代交流事業にかかる必要経費について委託契約を締結し事業を実施。	円滑な寮運営を図り、離島留学生を受け入れ奈留高校及び奈留小中学校を存続させるとともに、島外からの交流人口を増加させる。また、行政と地域が一体となった教育の島づくりを進め、島外者や地域住民らの多世代交流を促進する。	R4実績 13,275
				R5実績 13,532
				R6実績 15,500
12	五島日本語学校給付型奨学金事業【政策企画課】	五島日本語学校の留学生に対し、奨学金を給付し支援する。 ・毎月分 40,000円/月×留学生数×12月（1人当たり480,000円/年） ・加算分：日本語能力試験認定者 20,000円/日本語能力試験のN2及びN1の認定×認定者数	留学生を確保し、円滑な学校運営を支援する。	R4実績 42,320
				R5実績 47,420
				R6実績 42,920
13	探究学習を通じた島の子どもと大学生との交流促進事業【政策企画課】	奈留高校生と大学生が探究学習を通じ、オンライン及び現地での交流プログラムに取り組む事業を「(一社)奈留しまなび舎」への業務委託により実施した。	奈留島に暮らす子ども達が大学生との交流で、自分の進路やふるさとの「新たな価値観」を身に着ける機会を創出すること、また、大学生の来島により、交流人口の拡大を図ることを目的としており、2大学の学生との交流プログラムを実施することができた。	R4実績 2,643
				R5実績 2,645
				R6実績 2,644

### 3. 総評

#### 【新たな地域課題解決に向けた取組】

令和6年度中における地域の特性を活かしたまちづくり活動件数は59件であり、話し合い(座談会)を推奨してきたことが、各地区まちづくり協議会の課題解決に向けた取り組みにつながっている。引き続き、自分たちのまちは自分たちで創るという基本理念を基に、五島市とまちづくり協議会が協働、連携して、更なる課題解決に取り組んでいきたい。

#### 【地域おこし協力隊の定住率】

地域おこし協力隊については、専門的知識・技術を必要とするミッション型の隊員の任用により、目標と成果が明確化され、各隊員が着実に目標に向けて事業を実施した。令和6年度末の退任者総数30名のうち11名が定住しており、定住率は36.7%となった。

#### 【地域課題解消に向けた大学との連携事業数】

これまで継続的に取り組んできた事業に加え、県外の大学との新規事業も増えており、目標値には達していないが令和3年度と比較し2倍近くの事業に取り組むことができた。

#### 【五島日本語学校留学生数】

2年コースの入学生は89名であった。学生誘致を行っている九州総合学院に確認したところ、五島日本語学校への誘致に協力してもらっている現地の日本語学校3校のうち、1校からの入学が年々減少傾向にあるとのこと。

### 4. 今後の取組方針

#### 【新たな地域課題解決に向けた取組】

五島市協働のまちづくり基本方針に基づき、住民および職員のまちづくりへの意識醸成を図るとともに、まちづくり活動へ参画しやすい仕組みづくりに取り組む。

#### 【地域おこし協力隊の定住率】

地域おこし協力隊については、今後も隊員の目標を明確にし、任期終了後の定住を見据えた活動計画を策定するなど、現在の活動と任期終了後の定住について、十分に協議しながら進めていく。

#### 【地域課題解消に向けた大学との連携事業数】

これまでの取り組みを継続しながら、連携実績のある各大学との新たな分野での連携ができないか模索する。  
また、五島市の取組に興味を持ち、新たに繋がりのできた大学については、連携事業の相談等を行い、連携事業数の増加を目指す。

#### 【五島日本語学校留学生数】

九州総合学院、長崎県立大学、五島振興局と連携して学生の確保に努める。  
具体的には、ベトナム・ダナン市で開催される「ダナンフェスティバル」へ参加するとともに現地の日本語学校を訪問することで、五島日本語学校の認知度向上を図り、学生の確保に努める。

戦略プロジェクト	Ⅲ-1	健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト	所属課	国保健康政策課
重点事業	Ⅲ-1-2	質の高い医療・介護サービスの提供		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
調剤情報システム 市民加入者割合	目標値(%)	38.5	39.0	39.5	40	45	調剤情報共有システム加入者数12,548人(R7.3月末)÷住基人口33,279人(R7.3月末)×100	C
	実績(%)	39.4	39.8	39.1	38.6	37.7		
医師数の人口1 万人対率	目標値(人)	20.3	20.3	20.3	20.3	20.3	長崎県医療統計	A
	実績(人)	21.4	20.7	23.3	23.7	23.4		
看護師数の人口1 万人対率	目標値(人)	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	長崎県医療統計	A
	実績(人)	104.8	100.9	112.4	114.2	114		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業 番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	長崎県病院企業団運営費負担金(医師給与増嵩経費)	離島での医師確保対策として、過去3か年の全国公立病院の平均給与月額と長崎県病院企業団病院のうち離島地区病院の平均給与月額との差を一応の基準とし、医師数を乗じた額を繰り入れる。 五島中央病院:33.7人 富江病院:4.0人 奈留医療センター:2.1人	医師の給与を一定基準保つことで安定的に医師確保につなげる。	R4実績 80,297
				R5実績 104,085
				R6実績 99,796
2	長崎県病院企業団運営費負担金(医療従事者養成経費)	医療従事者養成のため、看護師養成の学校で学ぶ学生に奨学金を貸与する。8名貸与	五島中央病院での看護師確保につなげる。	R4実績 17,451
				R5実績 22,406
				R6実績 25,725
2	奨学金返還支援助成金	五島市で就労する35歳未満の方の奨学金の返還費用の一部を助成する。	若年層の定住の促進及び市内の産業を担う人材の確保を図り、人口減少対策を推進する。	R2実績 9,789
				R3実績 14,158
				R4実績 17,451
4	地域医療情報共有化事業(調剤情報システム活用事業)	市、五島中央病院の救急窓口、消防、調剤薬局でつながる調剤情報システムを運用し、調剤情報を一元化し、服薬指導で医療費削減につなげる。	医療情報を五島市全体で共有し、システム開発、ネットワーク拡大により、疾病予防及び重複投薬防止等につなげる。	R4実績 4,301
				R5実績 4,301
				R6実績 3,204

### 3. 総評

地域医療情報共有化事業(調剤情報共有システム活用事業)について、調剤薬局窓口、こども未来課新生児訪問時に加入(同意書取得)推進

### 4. 今後の取組方針

地域医療情報共有化事業(調剤情報共有システム活用事業)について、引き続き同意取得活動を継続する。(加入促進のため、調剤薬局窓口、こども未来課新生児訪問時において同意取得推進を実施)

戦略プロジェクト	Ⅲ-1	健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト	所属課	長寿介護課、国保健康政策課、スポーツ振興課
重点事業	Ⅲ-1-3	健康で長生きできるしまづくり		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
生活支援サービス創出数	目標値	6	6	6	6	6	R6生活支援サービス創出数	A
	実績	11	14	13	14	15		
認知症サポーター数	目標値(人)	3,000	3,200	3,400	3,600	4,380	H20年度からR6年度末での累計受講者数講座18回開催	A
	実績(人)	3,428	3,811	4,180	5,076	5,360		
認知症カフェ設置箇所数	目標値(箇所)	2	3	4	5	6	花サロン、玉之浦つばきカフェ、きくまちなかほけんしつ、かめりあ会、泊カフェ(奈留)	C
	実績(箇所)	2	2	4	5	5		
認知症初期集中支援チームの訪問件数	目標値(件)	165	165	165	165	165	年度末の訪問延件数実人数88人	A
	実績(件)	222	323	336	334	286		
地域ミニデイの設置件数	目標値(件)	40	40	40	40	40	年度末実数	A
	実績(件)	43	43	41	42	42		
地域ミニデイ住民ボランティア登録者数	目標値(人)	200	200	200	200	200	年度末実数	A
	実績(人)	256	237	214	199	204		
要介護認定率	目標値(%)	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	認定者数2,732人/第1号被保険者数14,340人=19.1%	A
	実績(%)	19.2	19.4	19.6	19.5	19.1		
高齢者緊急通報事業(シルバーホン)利用者数	目標値(人)	30	33	36	38	40	年度末実数	B
	実績(人)	34	34	46	41	39		
重症化予防事業からの医療機関受診率	目標値(%)	38.0	40.0	43.0	47.0	50.0	対象者:268人 受診者:145人 ※R7.5月末現在で確認できた人数	A
	実績(%)	57.0	65.9	58.3	57.7	54.1		
がん検診精査結果の把握率	目標値(%)	93.0	95.0	98.0	100.0	100.0	要精密者:621人 結果把握数:584人	B
	実績(%)	94.3	91.6	89.9	97.0	94.0		
高齢者対象ニュースポーツ教室等開催数	目標値(回)	7	9	11	12	12	高齢者対象スポーツ教室(出前講座)の開催数	A
	実績(回)	4	7	9	10	12		
シルバー人材センター会員数	目標値(人)	180	200	250	280	300	年度末実数	C
	実績(人)	212	196	200	194	184		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	特定健診の重症化予防事業	市が設定した選定基準に基づき、対象者を抽出し、医療機関受診勧奨と生活改善のための保健指導を行う。	特定健診結果の病院受診レベルの者を医療につなぐことで、生活習慣病の重症化を予防することができ、医療費の抑制につながる。	R4実績 -
				R5実績 -
				R6実績 -
2	がん検診要精密者受診勧奨事業	受診後2~3か月以降に紹介状の返信が無い者に電話、訪問で受診勧奨を行う。指導2~3か月後、未受診の者に対しては再度受診勧奨を行う。	要精密者を確実に受診に繋げる。要精密者ががんであった場合、早期に医療につなぐことで、治療費の削減につながる。	R4実績 -
				R5実績 -
				R6実績 30
3	地域ミニ・デイサービス事業	・高齢者が気軽に楽しく参加できる集いの場の開設 ・住民ボランティアの養成	高齢者の健康寿命を長く保つため、地域住民主体のレクリエーションや健康づくり等の活動を推進することで、高齢者が要介護状態になることを予防する。	R4実績 4,391
				R5実績 5,066
				R6実績 5,812
4	認知症総合支援事業	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けるための取組を実施する。	認知症への理解を深める認知症サポーターを養成する。介護者のストレスに寄り添う。また認知症の方の不安を軽減する認知症カフェを設置する。	R4実績 6,572
				R5実績 7,420
				R6実績 9,120
5	高齢者等労働能力活用事業(シルバー人材センター)	登録会員は受注した樹木剪定、草刈、除草、清掃等の作業やリサイクル物品の回収と販売を実施する。また、生活支援を行うワンコインサービスや空家の総合管理サービスを行う。	高齢者の豊富な技術・経験を生かし就業することで、社会に参加し、社会貢献できる。	R4実績 13,050
				R5実績 13,050
				R6実績 12,857

6	高齢者対象のスポーツ教室(出前講座: ENJOYスポレク、体力測定会)の開催	職員が老人クラブ、公民館等に出向いて、ニュースポーツの体験教室や体力測定会を行う。	高齢者が運動を通して、健康づくりや介護予防等に取組むとともに、いつまでも地域の中で健康で活躍できる環境づくりを進める。	R4実績	-
				R5実績	-
				R6実績	-
7	高齢者緊急通報事業(シルバーホン)	在宅で一人暮らしの高齢者及び障害者の急病、災害等の緊急時におけるシルバーホンによる協力員への通報体制を整備する。	ひとり暮らしで生活する高齢者が緊急時に協力員に連絡できることで、安心して住みなれた自宅で暮らし続けることができ、高齢者の福祉の増進に繋がる。	R4実績	337
				R5実績	281
				R6実績	263

### 3. 総評

<p><b>【認知症総合支援事業】</b>          ・認知症サポーター数については、R6年度、講座を18回実施し、284人が受講した。H20年度からの累計受講者は、キャラバンメイトを含め5360人となった。目標値を達成しているため、評価はAとした。          ・R6年度の認知症初期集中支援チームの訪問件数は286人、実人数は88人だった。目標値を達成しているため、評価はAとした。          ・R6年度の認知症カフェ設置数は5箇所だった。R7年3月15日に富江地区に1か所開設予定であったが、主催者の事情によりR7年4月9日に開設された。目標値の約83%の達成だったため、評価はCとした。</p> <p><b>【生活支援体制整備事業】</b>          R6.9月、玉之浦町上の平地区で、新たな集いの場が発足。          地域のキーマンから、地域の関係性が希薄になっている、お喋りばかりではない集いの場を作りたいとの相談を受け、生活支援コーディネーターがサポートに入っていた。3年経過し、ようやく発足となった。少しでも長く続いていくようサポートを継続中。</p> <p><b>【地域ミニ・デイサービス】</b>          担当職員及び理学療法士(地域リハ広域支援センターからの派遣協力含む)等が、既存ミニデイの運営を支援した。          また、6～8月にかけて、玉之浦地区で移動型の運動特化型ミニデイを実施。その参加者が新規の活動団体を発足させた。          ・1団体が発足…玉之浦:たまんなクラブ          ・1団体が解散…奥浦:わかたかクラブ          介護予防ボランティア養成講座及び介護予防ボランティアフォローアップ研修を実施。15人が有償ボランティアの新規登録を行った。          ・有償ボランティア165人、無償ボランティア39人。総数は前年比5人増。</p> <p><b>【シルバー人材センター】</b>          シルバー人材センター運営費の補助により、センターの運営を支援した。また、広報ごとに記事を掲載し、新規会員募集の広報支援を行った。          ・入会者25人、退会者35人。総数:前年比▲10人</p>
--

### 4. 今後の取組方針

<p><b>【認知症総合支援事業】</b>          第3期 五島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略では、R11年度末までに認知症サポーター養成講座受講者数(H20年度からの累計)6,080人、認知症カフェ参加者数は年に200人を目標として取り組みを継続する。</p> <p><b>【生活支援体制整備事業】</b>          第3期総合戦略では、生活支援サービス創出数に関するKPIが設定されていないが、高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けるためには、住民主体の活動(集いの場や生活支援サービス)は重要な資源である。          生活支援コーディネーターが関わる住民主体の活動について、各年度末のサービス数15を維持できるよう取り組みを継続する。</p> <p><b>【地域ミニ・デイサービス】</b>          第3期総合戦略では、以下の目標値となっている。          ・地域ミニデイの設置件数…40件(R11)          ・地域ミニデイ住民ボランティア登録者数…180人(R11)          運営する方の高齢化により解散する団体が出てきている。          ボランティアの確保により既存団体の活動維持に取り組むとともに、生活支援コーディネーターとの連携により新規団体の立ち上げに努める。</p> <p><b>【高齢者緊急通報事業(シルバーホン)】</b>          高齢者の命を守るための手段のひとつとして、事業を継続する。</p> <p><b>【シルバー人材センター】</b>          高齢者がさまざまな社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活を実現するため、センターの運営支援及び会員確保のための広報活動等に取り組む。</p>
---

戦略プロジェクト	Ⅲ-1	健康で安心して暮らせる地域共生社会づくりプロジェクト	所属課	社会福祉課
重点事業	Ⅲ-1-4	障がい者の自立支援		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
地域生活支援拠点等の整備	目標値(箇所)	1	1	1	1	1	R2年度末に整備済	A
	実績(箇所)	1	1	1	1	1		
相談支援対応件数(基幹相談支援事業所)	目標値(件)	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	相談支援事業実績報告書	A
	実績(件)	1,401	1,295	1,397	1,199	2,010		
相談支援対応件数(障害者就業・生活支援センター)	目標値(件)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	センターへの聴き取り	C
	実績(件)	1,403	1,267	1,649	1,694	1,603		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	地域生活支援拠点等の整備	障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、障害者等の地域移行を進めるため、重度障害にも対応することができる専門性を有し、地域生活で生じる障害者等への緊急事態に対応を図る。	障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することで、住み慣れた地域で安心して生活することができる。	R4実績 1
				R5実績 1
				R6実績 1
2	障害者相談支援事業	地域移行支援や地域定着支援による常時の連絡体制や緊急事態等の相談支援、親元からの自立や地域での暮らし等、障がい者やその家族からの相談に応じる。	障がい者等の相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、必要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができる。	R4実績 11,900
				R5実績 11,900
				R6実績 13,474
3	地域活動支援センター事業	障がい者に創作的活動・生産活動の機会を提供することにより、社会との交流を促進し、自立した生活を支援する。	障がい者の日中の居場所づくりや生きがいつくり、日常生活での困りごとを相談できる機会の提供などを行うとともに、地域社会との交流を促進する。	R4実績 12,900
				R5実績 12,131
				R6実績 11,054

### 3. 総評

令和6年度については、地域生活支援拠点等が整備済みであったことと、相談支援対応件数(基幹相談支援事業所)が目標を上回ったことから、概ね達成できた。相談支援対応件数(障害者就業・生活支援センター)については、概ね達成できているが、市の委託事業でもなく、また令和5年度から市の補助金も支出していないため、市の関与がなかった。

### 4. 今後の取組方針

令和7年度から市直営で障害者基幹相談支援センターを設置した。障害者相談専門職を4名配置(予定)し、総合相談・専門相談、権利擁護・虐待防止、地域移行・地域定着支援の取組を行うこととしている。しかし、専門職の確保が困難な状況であり、相談業務の強化に取組めるか不透明な状況である。また、社会福祉法人に委託していた相談支援事業も市直営での実施としたため、さらに専門職の確保が重要な課題である。

戦略プロジェクト	Ⅲ-2	インフラ整備プロジェクト	所属課	商工雇用政策課
重点事業	Ⅲ-2-1	公共交通機関の維持・活性化		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
航路利用者数(基幹航路)	目標値(人)	589,589	603,911	613,549	620,130	620,600	事業者からの報告	C
	実績(人)	270,896	304,713	406,914	468,108	458,008		
航路利用者数(二次離島航路)	目標値(人)	213,716	214,282	214,133	213,506	212,000	事業者からの報告	C
	実績(人)	168,255	162,153	177,577	176,608	173,135		
空路利用者数	目標値(人)	168,829	173,399	176,554	178,764	179,100	事業者からの報告	B
	実績(人)	71,812	97,287	153,937	173,110	177,041		
陸上交通機関(路線バス、乗合タクシー)利用者数	目標値(人)	374,942	369,866	364,789	359,713	354,700	実績報告書	C
	実績(人)	349,884	321,899	337,561	334,546	316,762		
高齢者フリーバスの利用者数	目標値(人)	200	225	250	275	300	五島自動車提供	C
	実績(人)	189	195	184	155	153		
路線・航路等検索サービス構築事業数(累計)	目標値(件)	3	5	7	9	11	検索サービス確認	A
	実績(件)	11	11	11	11	11		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	国境離島運賃低廉化負担金	島民を対象に、航路・航空路を利用する際、新幹線やJR在来線並みの料金で利用できるようにする。	航路・航空路の運賃低廉化を実施することで、離島生活における経済的負担の軽減を図る。	R4実績 94,756
				R5実績 128,288
				R6実績 131,052
2	五島市バス路線維持費補助金	バス路線の維持確保を図り、地域住民の日常生活における利便性の向上のため、路線バス運行事業者に対して補助金を交付する。	住民の通勤、通学、通院及び買い物などの日常生活における利便性の確保・向上を図るためにバス運行を維持する。	R4実績 108,098
				R5実績 95,429
				R6実績 99,526
3	新生活交通維持事業補助金(富江・三井楽・岐宿・奈留・久賀)	経済的で利用者の利便性に配慮した生活交通路線として確立するため、乗合タクシー事業者に対して補助金を交付する。	各地区において、乗合タクシーを運行して移動制約者の交通手段を確保する。	R4実績 7,602
				R5実績 9,888
				R6実績 10,134
4	福江商店街巡回バス事業費補助金	福江地区において、路線バスが運行されていない地区を中心に運行する巡回バス運行事業者に対して補助金を交付する。	買い物や通院等の交通手段として利用できる巡回バスを運行し、利便性の向上及び商店街の活性化を図る。	R4実績 -
				R5実績 -
				R6実績 -
5	デマンド型乗合タクシー運行費負担金	AIを搭載した運行管理システムを導入し、電話予約制乗合タクシー運行を実施する。	公共交通機関を必要とする地域住民の買い物や通院等の交通手段を確保する。	R4実績 46,200
				R5実績 53,433
				R6実績 58,824

3. 総評

<p>【航路・航空路】</p> <p>コロナ禍の影響により減少していた利用者も、コロナ禍前(R1)と比較して、基幹航路では84%、二次離島航路では80%、航空路では110%まで回復したものの、目標値には届いていない。二次離島航路に関しては、人口減少等により利用者数の増加は見込めないが、基幹航路及び空路利用者は、観光客等の利用促進により目標値に近づきたい。</p> <p>【陸上交通】</p> <p>チョイソコ等乗合タクシーの利用者数は前年より微増したが、路線バス利用者数が減少したため、前年より約5%減少した。特に奈留島での、以前のバス利用者数に比べチョイソコ利用がまだ少ないので、さらなる利用促進に取り組んでいく必要がある。</p>
--

4. 今後の取組方針

<p>【航路・航空路】</p> <p>航空路に関しては、コロナ禍前(R1)よりも増えている。今後も運航事業者と連携しながら、利用者増に向けて取り組んでいく。</p> <p>【陸上交通】</p> <p>富江・富江・岐宿・奈留地区に導入した電話予約制乗合タクシー「チョイソコごとう」と路線バスの融合によるバス路線の効率化(再編)を目指し、関係機関及び関係部署との組織横断的な連携のもと、地域公共交通のあり方についての調査・検討を引き続き行う。</p>
---

戦略プロジェクト	Ⅲ-2	インフラ整備プロジェクト	所属課	建設課、生活環境課、消防本部、未来創造課
重点事業	Ⅲ-2-2	社会生活基盤の整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
公共土木施設維持保全対応率	目標値(%)	71.0	73.0	75.0	78.0	80.0	647/815件 (処理件数/受付件数)	B
	実績(%)	71.1	73.2	82.8	83.4	79.4		
橋りょうの補修実施件数(橋りょう修繕計画)(累計)	目標値(件)	40	45	50	55	55	橋梁長寿命化修繕計画における修繕計画と修繕実績	A
	実績(件)	40	53	67	73	78		
汚水処理人口普及率	目標値(%)	45.4	47.6	49.9	52.3	54.7	(漁業集落排水接続人口 31人 + 浄化槽接続人口 17,103人) ÷ 区域人口93,279人	B
	実績(%)	44.7	46.6	48.1	49.8	51.5		
消防職員による防火・救急等に関する相談のための訪問件数	目標値(件)	300	300	300	300	300	実施した訪問件数による	C
	実績(件)	283	183	400	365	232		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	公共土木施設維持保全事業	社会生活の基盤である市道、河川、排水路を、市民の陳情、要望に沿った維持管理を行う。	地域住民の安全で快適な生活環境を整え、市民生活の満足度の向上を図る。	R4実績 130,819
				R5実績 141,735
				R6実績 201,478
2	橋りょう維持補修事業	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、定期的な点検及び補修を実施する。	橋りょうの長寿命化並びに修繕・架替えに係わる費用の縮減を図る。	R4実績 101,858
				R5実績 37,371
				R6実績 96,756
3	浄化槽設置整備事業	住宅及び事業所に設置する合併浄化槽設置者に補助する。(人槽に応じた補助基準額を設定)	生活排水としての下水道事業計画が廃止となったため、経済的で早期整備が可能な個人設置が可能な個人設置型合併浄化槽の普及促進を図る。	R4実績 175,016
				R5実績 157,160
				R6実績 146,508
4	高齢者世帯等住宅消防訪問	高齢者、身体障がい者等の世帯を中心に訪問し、住宅防火や救急に関する相談、緊急時の避難場所の確認などを行う。	住宅防火に関する指導や救急に関する相談、体調管理の指導により火災予防、体調管理の意識を向上させ、不安を軽減する。また、消防が個別に住宅を訪問することで見守りの役割を果たす。	R4実績 -
				R5実績 -
				R6実績 -
5	光情報通信網情報センター等機器更新事業	五島テレビへ譲渡した光情報通信網について、法定耐用年数が経過し、かつ、平成27年度以後一度も更新されていない設備の更新等に要する費用を、五島テレビに対して助成する。	安定したケーブルテレビ放送、光インターネットサービスを市民へ提供する。	R4実績 213,783
				R5実績 -
				R6実績 -

3. 総評

<p><b>【公共土木施設維持保全対応率、橋りょうの補修実施件数】</b></p> <p>①公共土木施設維持保全対応率については、規模がやや大きめの案件が増えてきており、施工に必要な日数も要することが多くなってきていることが、対応率が目標に達しなかった主な原因だと思われます。資材の高騰化が著しく、短期間で完了できる案件も積み残しになっている場合もあるので、調査(施工要否判断)や施工計画の見直しも今後の課題である。</p> <p>②橋梁の点検結果に基づき5橋を修繕し、目標を大きく上回った。</p> <p><b>【汚水処理人口普及率】</b></p> <p>R6の合併浄化槽設置実績は230基であった。設置基数は年々減少傾向にある。</p> <p><b>【消防職員による防火・救急等に関する相談のための訪問件数】</b></p> <p>高齢者世帯訪問時において個人情報の収集しながら実態把握を兼ねて実施していたところ、制服消防手帳等で身分を明かしているが不審がられる事案が数件発生したため一時期中断し今後の実施方法等を検討する。</p>
---

4. 今後の取組方針

<p><b>【公共土木施設維持保全対応率、橋りょうの補修実施件数】</b></p> <p>令和6年度までの補修橋梁は55橋の計画であったが、第2期計画策定以降の橋梁点検の結果に基づき補修を実施し、補修橋梁は78橋となった。(R3年度:13橋、R4年度:14橋、R5年度:6橋、R6年度:2橋、R7年度:5橋)今後は、令和7年度から16年度までの期間で35橋の補修計画があり、第3期道路橋定期点検(R6～R10)の結果を反映し計画を更新しながら実施していく。</p> <p><b>【汚水処理人口普及率】</b></p> <p>下水道事業計画が廃止となり、汚水処理は合併処理浄化槽の設置が重要となっている。今後も市民に対して補助制度の周知を行い、合併浄化槽の普及を促進していく。</p> <p><b>【消防職員による防火・救急等に関する相談のための訪問件数】</b></p> <p>特殊犯罪の増加に伴い、各個人が突然の来客に警戒心を持つ中で実施することは大変であるが理解と協力を求めている意思疎通を図りながら実施していくしかない。</p>
---

基本目標	IV	五島の宝・子どもが育ち、輝く“しま”をつくる	所属課	こども未来課
------	----	------------------------	-----	--------

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
合計特殊出生率	目標値	1.88	1.91	1.93	1.95	1.97	長崎県衛生統計年報	
	実績	2.16	1.93	1.86	未確定	未確定		
出生数	目標値(人)	195	195	195	195	195	人口統計	C
	実績(人)	189	195	173	166	130		
子育て支援満足度	目標値(%)	55.8	57.8	59.8	61.8	63.8	市民アンケート	C
	実績(%)	54.3	55.1	49.4	57.9	47.0		
教育環境満足度	目標値(%)	59.3	62.3	65.3	68.3	71.3	市民アンケート	C
	実績(%)	56.2	56.2	52.0	54.7	50.5		

2. 総評

【出生数】

目標値に届いておらず、引き続き、出会い・結婚・出産支援に力を入れていきたい。

【子育て支援・教育環境満足度】

アンケート結果より、市の「結婚・出産・子育て支援」、「教育のしまづくり」について、「わからない」と答えた方が3割を超えている。

3. 今後の取組方針

【出生数】

○出会い・結婚支援

- ・五島市めぐりあい事業(婚活イベント)
- ・結婚支援センターによる相談
- ・結婚新生活支援事業(新婚さんの家賃補助)

○出産支援

- ・生殖補助、一般不妊治療助成

【子育て支援・教育環境満足度】

各事業をHPや広報誌等で周知する際は、市民に分かりやすい内容で掲載する。また、アンケート結果について、全課で共有し現状を認識し、横断的な取り組みに繋げる。

戦略プロジェクト	IV-1	結婚・出産・子育て支援プロジェクト	所属課	こども未来課
重点事業	IV-1-1	出会い・結婚支援		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
婚活イベント参加者数(累計)	目標値(人)	40	90	150	220	260	イベント開催3回 合計60人	B
	実績(人)	0	55	124	193	253		
イベント等によるカップリング数	目標値(組)	3	6	10	15	20	イベント開催3回 合計15組	C
	実績(組)	0	10	20	29	15		
婚活支援団体数(累計)	目標値(団体)	3	3	3	4	4	実績なし	C
	実績(団体)	1	1	1	1	0		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費	R5総事業費	R6総事業費
				R4実績	R5実績	R6実績
1	めぐりあい交流促進事業	婚活イベントを実施し、独身男女の出会いを創出する。	出会いを創出することで成婚及び出生数の増加につなげていきたい。	4,939	5,932	4,947
2	結婚支援センター事業	長崎県縁結び隊に婚活に関する相談などを行える「結婚支援センター」を開設する。 開設日:毎月第4土曜日	令和6年度相談数 延べ108人 出会いや結婚に関する悩みなどを解消し、成婚及び出生数の増加につなげていきたい。	549	362	189
3	婚活支援団体支援事業	五島市内の婚活支援団体が行う婚活イベントに対し、イベント運営経費やイベント参加者の宿泊費及び交通費の助成を行う。	出会いを創出することで成婚及び出生数の増加につなげていきたい。	252	230	0
4						

### 3. 総評

めぐりあい交流促進事業は、令和6年度はリアルイベントのみを開催した。イベントを3回実施し、15組のカップリングが成立する結果となり、1組が成婚に繋がった。また、令和5年度事業でカップリングした1組が令和6年度に成婚した。  
長崎県縁結び隊は、結婚支援センター開設日以外にも自宅や電話での相談、フォローやお見合いによる引き合わせなどを実施しており、これまでに通算6組を婚姻に繋げている。

### 4. 今後の取組方針

めぐりあい交流促進事業は、令和7年度も引き続きリアルイベントのみ3回の開催を予定している。島内在住者を中心により気軽に参加してもらえるような内容での実施を検討していく。  
結婚支援センター事業は、引き続き長崎県縁結び隊による相談体制を維持していくとともに、広報活動に努める。  
婚活支援団体支援事業は、対象となる団体の拡大など幅広い団体が活用できるよう検討していく。

戦略プロジェクト	IV-1	結婚・出産・子育て支援プロジェクト	所属課	こども未来課 教育総務課
重点事業	IV-1-2	出産・子育て支援		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
保育所・認定こども園待機児童数	目標値(人)	0	0	0	0	0	保育所等入所調べ(五島市)	A
	実績(人)	0	0	0	0	0		
乳児家庭全戸訪問事業の訪問率	目標値(%)	100	100	100	100	100	対象数:119件 訪問件数:119件	A
	実績(%)	100	100	100	100	100		
子育て支援員数(累計)	目標値(人)	23	26	29	31	33	放課後児童支援員配置状況調査(長崎県こども未来課調べ)	C
	実績(人)	33	35	35	26	25		
家庭教育学級等の参加者数	目標値(人)	1000	1000	1000	1000	1000	総受講者数	C
	実績(人)	404	299	378	445	536		
放課後児童クラブのクラス数	目標値(クラス)	13	13	13	13	13	放課後児童健全育成事業補助金交付決定一覧表	C
	実績(クラス)	14	13	14	11	11		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	放課後児童健全育成事業費	社会福祉法人等が運営する放課後児童クラブの運営費等を支援する。	運営費を支援することで、継続した運営を行うことができるようになり、小学生の放課後待機児童を解消することができる。	R4実績 88,114
				R5実績 88,469
				R6実績 91,018
2	乳児家庭全戸訪問事業	開業助産師に児童福祉法に基づく乳児家庭全戸訪問事業を委託し、月に一度、訪問結果の報告を受け、継続支援の必要性についてケース検討会を実施する。	乳児家庭の孤立化を 방지、乳児の健全な育成環境の確保を図る。	R4実績 880
				R5実績 1,248
				R6実績 992
3	家庭教育学級事業	家庭教育の専門的知識を持った講師を派遣し、家庭教育力向上につなげる。(親が主体となり年間を通して学習)	保育園や学校等を拠点とし、その保護者を対象に家庭教育について学ぶ機会を提供。	R4実績 97
				R5実績 49
				R6実績 65
4	子育て出前講座事業	家庭教育の専門的知識を持った講師を派遣し、家庭教育力向上につなげる。(単発で実施)	保育園や学校等を拠点とし、その保護者を対象に家庭教育について学ぶ機会を提供。	R4実績 36
				R5実績 29
				R6実績 27

### 3. 総評

<p>【保育所・認定こども園待機児童数、子育て支援員数、放課後児童クラブのクラス数】 潜在的待機児童(保護者が特定の施設への入園を希望しているため、実際に入園できていない子ども)は少数いるが、待機児童数はゼロを継続している。 放課後児童クラブの運営費補助は、国の基準額単価が引き上げられたことにより増額となった。クラブ数は維持できているものの支援員不足の状況は改善されていない。</p>
---

### 3. 総評

#### 【乳児家庭全戸訪問事業】

開業助産師に委託し、産後うつ等の特有な症状が出現する産後早期に家庭訪問を実施。乳児及び産婦の健康状態や養育環境、支援者の有無等の把握を行った。産後、最も不安になる授乳方法や赤ちゃんのお世話、産婦自身の体調の変化について、適切な助言をし育児不安の軽減を図った。

訪問後は関係スタッフ(委託助産師、保健師、管理栄養士)で全ケースの報告と今後の支援について検討。継続支援が必要なケースについては保健師や管理栄養士、医療機関等関係機関へ繋げている。

#### 【家庭教育学級等の参加者数】

家庭教育学級事業として家庭教育学級と子育て出前講座を実施しているが、家庭教育学級を開催するには年間3～5回の開催や計画書の作成等が必要であることから家庭教育学級の開催回数が減少しており、その反面、単発で簡単に実施できる子育て出前講座の利用が伸びている状況である。

### 4. 今後の取組方針

#### 【保育所・認定こども園待機児童数、子育て支援員数、放課後児童クラブのクラス数】

待機児童数はゼロを継続しているが、児童数が減少している状況を考慮すると今後待機児童が発生する見込みは低いと考える。

児童クラブについては職員(支援員)の確保に苦慮している施設が多く、クラス数も目標を達成できていないが、児童数の減少もあり、保育ニーズに対応するための体制は整備できている状況である。事業を維持するための補助メニューの見直しなどは引き続き行う必要がある。

#### 【乳児家庭全戸訪問事業】

現状通り開業助産師へ委託をし実施する。関係スタッフによる訪問ケース報告、支援検討会も継続実施。妊娠届出時と妊娠後期(妊娠28週以降)に必ず助産師か保健師が面接を実施しており、早期の訪問が必要なケースや対象者の希望が把握できるため、妊娠期から出産、子育て期まで、切れ目ない支援を行うように努める。

#### 【家庭教育学級等の参加者数】

学校や保育園での家庭教育学級の認知度は高いが、実施回数や計画書の作成など面倒な点が敬遠されていることから、令和7年度より家庭教育推進事業として家庭教育講座を「子育て出前講座」に一本化し、利用促進を図る方針である。

親同士のつながりを深める「ながさきファミリープログラム」や「メディア安全指導員」の活用を推進する。

戦略プロジェクト	IV-2	教育のしまづくりプロジェクト	所属課	学校教育課
重点事業	IV-2-1	グローバル人材育成		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
だれかに英語で話しかけてみたことがあるか(市内全小学6年生対象意識調査)	目標値(%)	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	英検ジュニア意識調査	A
	実績(%)	48.0	49.0	40.0	56.0	65.0		
CEFR(外国語のコミュニケーション能力指標)のA1レベル以上の生徒比率	目標値(%)	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	県学力調査 英検IBA	A
	実績(%)	60.4	55.7	58.8	61.0	77.7		
イングリッシュキャンプ参加後の意識調査(英語学習へのさらなる意欲が高まったか等)	目標値(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	イングリッシュキャンプ参加者アンケート	A
	実績(%)	0	100.0	100.0	100.0	100.0		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	市単独外国語職員(ALT指導員)の雇用事業	英語教育の補助として市内の学校に7名のALTを雇用しており、そのALTのとりまとめとして、市単独で1名指導員を雇用。	ALTの学校での指導方法や教材等を統一し、市内全校で一貫した英語教育の充実強化を図る。また、ALTの生活全般の指導を行う。	R4実績 4,604
				R5実績 4,615
				R6実績 4,634
2	「プロジェクトG」小学校からの英語習得事業	通常小学3年生からの外国語教育を国の特例制度を利用して、小学1年生から早期英語教育を行う。	指導力向上を目指した研修会やジュニアイングリッシュキャンプを開催したり、英検ジュニアの受験を実施したりすることで、英語力やコミュニケーション力の向上を図っている。	R4実績 9,787
				R5実績 9,985
				R6実績 10,249
3	語学指導等を行う外国人青年誘致事業	外国語指導助手として、小中学校の英語の授業を行い、外国語や異文化にふれる機会をつくる。	五島市は、外国語や異文化に触れる機会がほとんど無い環境にあるが、ALTの来校によって、英語への興味関心を高めている。	R4実績 28,553
				R5実績 31,099
				R6実績 31,713
4	イングリッシュキャンプ	市内の中学生を対象に募集し、2日間の英語漬けの生活を体験する。	ALTと英語を使った活動や異文化交流を行うことで、英語への興味関心を高める。	R4実績 648
				R5実績 837
				R6実績 882

### 3. 総評

平成26年度からスタートしたプロジェクトGも11年が経過した。離島である五島市において、外国人や英語に触れる機会は少なく、当初は英語に対する抵抗感が生徒、教員ともに見られたが、ALTとの連携、指導者の授業における工夫や努力などにより、英語学習への関心が高まってきたと言える。特に、小学生の「だれかに英語で話しかけてみたことがあるか」という意識調査において、例年目標値を下回っていたが、令和6年度は、目標値を上回った。また、中3においては、英語指標がA1以上の生徒が着実に増え、英語力が向上していると言える。

### 4. 今後の取組方針

小学校英語が教科化し、内容も高度化したことから、英語嫌いが全国的に増えていることが課題としてあげられている。県内のどの市町でも英語に関わる行事や取組が行われており、大きく違う点は、五島市においては特例校の指定を受けて小学1年生から英語学習に取り組んでいることである。小学1年生から英語に触れるメリットを最大限に生かし、英語嫌いを減らしていきたい。また、中学校においては4月の県学力調査では県内でも上位であるが、高校入学直後の学力検査では、課題が見られる。課題の原因を究明し、授業改善に努めたい。

戦略プロジェクト	IV-2	教育のしまづくりプロジェクト	所属課	学校教育課 教育総務課
重点事業	IV-2-2	郷土愛を育み学びの質を高めるための環境整備		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
ふるさと活性化貢献支援事業 指定校数	目標値(校)	6	6	7	7	8	ふるさと活性化貢献支援事業能申込学校数	A
	実績(校)	5	5	7	8	10		
不登校児童生徒の割合	目標値(%)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	R6不登校傾向児童生徒数(3月)	C
	実績(%)	1.9	2.1	2.7	3.9	4.4		
全国学力調査の国語における五島市と全国の正答率の比較	目標値	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0	全国学力学習状況調査	C
	実績	0	94.0	87.0	97.9	98.6		
教員一人当たりのICT機器活用頻度	目標値(回/週)	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	学校における教育の情報化の実態に関する五島市独自の調査	A
	実績(回/週)	8.0	8.5	14.2	19.2	23.4		
全国学力調査の算数・数学科における五島市と全国の正答率の比較	目標値	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0	全国学力学習状況調査	C
	実績	0	98.0	91.5	88.1	96.7		
長寿命化計画に基づき改修工事を実施した学校数(累計)	目標値(校)	3	5	9	12	16	R6実績なし	C
	実績(校)	1	2	3	4	4		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費	R5総事業費	R6総事業費
				R4実績	R5実績	R6実績
1	ふるさと活性化貢献支援事業	ふるさと学習の充実に係る補助をする。	五島市の未来を担う中・高校生に、少子化・人口減少等市の抱える問題を捉えさせ、その解決に向けた学習活動の創造を支援していくことで、ふるさと五島の活性化に貢献できる人材の育成を図るとともに、将来地元で生活しようとする気持ちや、五島を離れてもふるさとを思う心情を育てる。	R4実績 789	R5実績 861	R6実績 1,025
				R4実績 6,946	R5実績 7,372	R6実績 8,853
				R4実績 8,448	R5実績 12,712	R6実績 12,999
2	教育支援教室事業	学校復帰や社会的自立に向けた支援を行う。	不登校や発達障害等の特別に配慮を要する児童生徒に対し、学校や家庭、関係機関との連携を図り、特性に応じた適切な支援を行い、五島の宝である子どもに確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成する。	R4実績 82,655	R5実績 0	R6実績 0
				R4実績 126,699	R5実績 129,111	R6実績 0
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
3	ICT教育強化事業	ICT教育の強化を図る。	ICT教育の環境を継続的に整備し、ICT支援員等の支援を受け、各学校のICT教育を推進することにより、児童生徒の学力向上を図る。	R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
4	小学校校舎改修事業	老朽化が進んだ校舎の屋上、外壁を改修する。	施設の長寿命化を図りながら、安全・安心に学校生活できる環境を整える。	R4実績 337,927	R5実績 20,474	R6実績 30,536
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
5	中学校校舎改修事業	老朽化が進んだ校舎の屋上、外壁を改修する。	施設の長寿命化を図りながら、安全・安心に学校生活できる環境を整える。	R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
6	緑丘小学校改築事業	駐車場、体育倉庫、運動場等の整備及び仮設通路の撤去を行う。	施設の長寿命化を図りながら、安全・安心に学校生活できる環境を整える。	R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
7	本山小学校体育館・横断歩道橋新築事業	県道福江・富江線の拡幅工事に伴い本山小学校体育館と歩道橋を新築する。	体育館を使用する生徒や教職員等が、安全・安心に施設を使用することができる。また、建て替え後は市の避難所指定も想定されることから、防災拠点としての活用も見込まれる。	R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0
				R4実績 0	R5実績 0	R6実績 0

8	小学校営繕事業	各学校へ要望調査を実施し、予算の範囲内で必要な箇所を選定後、営繕を実施する。	施設の長寿命化を図りながら、安全・安心に学校生活でできる環境を整える。	R4実績 32,464 R5実績 24,074 R6実績 26,325
9	小学校体育館照明器具取替事業	体育館の照明に使用している水銀灯が2021年から生産中止になるため、LED照明に切り替えるとともに落下防止対策が取られていない箇所を解消する工事を行う。	早期に照明器具を取り替えることで在庫不足による不測の事態を回避できる。また落下防止対策を施し児童、教職員等の安全を確保する。	R4実績 9,310 R5実績 0 R6実績 43,844
10	中学校営繕事業	各学校へ要望調査を実施し、予算の範囲内で必要な箇所を選定後、営繕を実施する。	施設の長寿命化を図りながら、安全・安心に学校生活ができる環境を整える。	R4実績 35,961 R5実績 16,221 R6実績 20,572
11	中学校体育館照明器具取替事業	体育館の照明に使用している水銀灯が2021年から生産中止になるため、LED照明に切り替えるとともに落下防止対策が取られていない箇所を解消する工事を行う。	早期に照明器具を取り替えることで在庫不足による不測の事態を回避できる。また落下防止対策を施し生徒、教職員等の安全を確保する。	R4実績 11,494 R5実績 0 R6実績 56,276
12	教職員住宅営繕事業	各学校へ要望調査を実施し、必要な箇所を選定後、営繕を実施する。	施設の長寿命化を図りながら、教職員に快適かつ安心して生活できる住環境を整えることで、教育意欲の向上に繋げる。	R4実績 3,472 R5実績 2,192 R6実績 4,765

### 3. 総評

#### 【ふるさと活性化貢献支援事業】

令和6年度は、目標としていた10校の指定を行い、小学校・小中併設校、中学校、高等学校とすべての校種で事業展開を行うことができた。2月に実施した「まちづくりフェスタ」において、本事業に取り組んだ6校を含む13校が地域の特色をテーマとした学習の成果を発表することができた。各学校の成果物が充実してきていることに加え、それぞれの活動も発達段階に応じた内容の充実が見られた。

(参加校及び参加人数)

五島高校 195名、五島南高校 76名、奈留高校 24名、福江中 486名、翁頭中 70名、富江中 87名、三井楽中 10名  
奈留小中 43名、岐宿小 18名、三井楽小 80名 (合計 10校 計 1,089名)

#### 【不登校対策】

教育支援教室は令和6年度は5名の利用者があり、学校との連携を図りながら、きめ細やかな指導を行い、5名とも学校に復帰できた。令和6年度に30日以上欠席した児童生徒は、小学校22名、中学校72名、合計94名であった。各学校では、児童生徒に家庭訪問を行ったり、電話連絡をしたり、オンラインで授業を受けたり、個別の相談にのったりと、各学校の職員が懸命に支援を行っている。その結果、状況が少しでも向上した児童生徒は小学校9名、中学校で43名であった。特に中学3年生は、卒業や高校進学を目標に状況が向上した生徒が多かった。

#### 【ICT教育強化事業】

一人一台端末の整備が進み、確実に教員、児童生徒ともに活用の頻度があがった。ICT推進員の支援の効果が出ており、ICTに苦手意識のあった教員も、日常的に端末を活用し始めている。

#### 【長寿命化計画】

令和6年度における校舎改修工事は玉之浦小中学校を予定していたが、照明器具取替及びトイレ洋式化事業を優先したため実施しなかったが、学校営繕事業により各学校施設の修繕等を実施し、施設の長寿命化を図った。

### 4. 今後の取組方針

#### 【ふるさと活性化貢献支援事業】

・令和7年度は指定を12校に増やし、より多くの小・中学校、高等学校でのふるさと教育の推進を支援する。  
・今年度と同様に、「まちフェス」などのイベントを活用して、児童生徒が学習した成果を発表する機会と場の設定を行う。

#### 【不登校対策】

・教育支援教室(適応指導教室)をさらに周知し、利用しやすい環境をつくっていく。  
・五島市内の別室登校児童生徒の現状を把握し、学校に応じて、別室(校内教育支援センター)担当職員を派遣する。  
・不登校児童生徒の保護者の会を設定し、保護者が悩みを相談し合える環境をつくる。  
・確かな一歩推進事業を推進し、五島市においても、不登校児童生徒が活動する機会を提供する。

#### 【ICT教育強化事業】

・各校でのICT活用の実践例を市内で共有し、「こんな使い方もあったのか」と知ることで、授業の充実、働き方改革を進める。  
・ICT機器の活用を促進するため、学校の夏季休業中にICT研修を行う。  
・WiFi環境の整備の予定がない家庭への支援、手立てを考える。

#### 【長寿命化計画】

改修工事に係る予算を確保し、計画に基づいた工事実施に努める。

戦略プロジェクト	IV-2	教育のしまづくりプロジェクト	所属課	学校教育課
重点事業	IV-2-3	しま留学制度の推進		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
しま留学受入人数	目標値(人)	15	15	15	15	15	五島市しま留学生受入事業実績報告書	C
	実績(人)	20	21	17	12	9		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	しま留学受入事業	島内外の子どもの交流による人材育成	留学生を受け入れることにより、地域活性化の核である学校の存続を図る。また、受入校の児童生徒の固定化された人間関係を打破し、望ましい社会性の育成に寄与する。さらに、留学生を受け入れるしま親への委託料が発生することにより経済的効果が見込まれる。	R4実績 9,062
				R5実績 7,495
				R6実績 6,175
2				
3				

3. 総評

<p>①島に子どもたちがいることで、島の活性化に関して一定の効果が出ている。(地域の行事への参加など)</p> <p>②年度途中の契約変更(しま親の変更)が1件あった。</p>
--

4. 今後の取組方針

<p>①留学希望者の現地訪問時に、学校だけでなくしま親宅を見学を必須とする。(しま親の家に馴染めず、しま親変更や留学中止を考える留学生が後を絶たないため)</p> <p>②しま親と実親がSNS、LINE等を多用せず、直接連絡を取り合うように繰り返しお願いをしていく。</p> <p>③しま留学及び家族留学の実施要綱・募集要項の見直しを行う。</p>
--

戦略プロジェクト	IV-2	教育のしまづくりプロジェクト	所属課	教育総務課 学校教育課
重点事業	IV-2-4	読書に親しむ環境づくり		

1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
図書貸出冊数(図書館・公民館)	目標値(冊)	170,000	170,000	200,000	210,000	216,000	貸出冊数	C
	実績(冊)	127,321	136,342	73,679	194,578	179,296		
学校図書館支援員の学校訪問回数	目標値(回)	180	180	180	180	144	図書支援員配置計画	A
	実績(回)	178	169	198	197	246		
学校図書館児童1人当たりの月平均貸出冊数(小学生)	目標値(冊/月)	11	12	13	14	15	学校運営調査	C
	実績(冊/月)	11.6	12.8	13	12.8	12.1		
学校図書館生徒1人当たりの月平均貸出冊数(中学生)	目標値(冊/月)	2	2.5	3	4	5	学校運営調査	C
	実績(冊/月)	1.6	1.6	1.7	1.8	1.6		

2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R4総事業費
				R5総事業費
				R6総事業費
1	生きる力づくり読書推進事業	学校図書館支援員を適正に配置し、読書による様々な出会いや郷土愛を育む書物に多く触れる機会を提供する。	学校図書館支援員が学校図書館の整備や企画・運営を支援することで、読書に親しめる環境を整える。	R4実績 7,141
				R5実績 8,078
				R6実績 10,270
2	図書館管理運営事業	市内全域で図書館サービスの充実を図り、本館を中心に周辺地域には移動図書館車を活用し、利用者・貸出冊数の増加を目指す。	市民の多種多様なニーズに応じた図書資料の収集・提供に努め、学校・公民館等と連携し、読書活動の推進を図る。	R4実績 75,433
				R5実績 49,558
				R6実績 52,918
3	公民館図書室連携事業	奈留地区公民館図書室へ図書館の資料を配置し、奈留支所地域での図書館同様のサービスを目指す。	奈留支所地域での来館に不便を来す利用者へのサービスの拡充を図る。	R3実績 1,066
				R4実績 963
				R6実績 1,115
4				
5				

3. 総評

【図書貸し出し冊数】

R5年度は新図書館開館初年度であり、旧図書館時と比較し大きく伸びたが、R6年度は減少した。目標値には及ばなかったが、旧図書館R3年度と比較し1.3倍に伸びている。

【学校図書館】

図書支援員4名の熱意が強く、積極的に派遣校に出向き、工夫ある取組が見られる。貸出冊数としては目標値に到達していないが、1か月の読書量としては、小学生24.4冊(目標20冊)、中学生6.5冊(目標10冊)と目標指標に迫る結果となっている。

4. 今後の取組方針

【図書貸し出し冊数】

新規利用者に繋がるよう上映会など来館機会の増にさらに努め、また、魅力ある特集展示など注目を集めるような工夫やPRに努めたい。

【学校図書館】

図書室・図書館から本を借りている児童・生徒もいるが、ネットで容易に本が手に入ることもあり、購入した本を読んでいる児童・生徒も少なからずいる。そのことをふまえ、貸出し冊数よりも読書量に焦点を当て、本来の目的である読書活動の更なる推進を図りたい。

戦略プロジェクト	IV-2	教育のしまづくりプロジェクト	所属課	教育総務課
重点事業	IV-2-5	高等学校の魅力化の推進		

### 1. 数値目標、重点業績評価指標(KPI)の進捗・達成状況

数値目標、KPI名	目標値・実績						実績の積算根拠	評価
	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
下宿先受入可能人数	目標値(人)	60	60	60	60	60	実受入先確保件数	C
	実績(人)	65	60	57	57	52		

### 2. 実施事業一覧

(単位:千円)

事業番号	事務事業名	事業内容	事業の成果・ねらい	R3総事業費
				R4総事業費
				R6総事業費
1	五島南高校、奈留高校 離島留学制度	五島南高校では市内外から不登校生徒を受け入れる。奈留高校では市外から英語を学びたいと思う生徒を受け入れる。	県:高等学校で学ぶ機会を確保し、教育水準の維持を図る。 市:地元高校の存続・発展を図る。	R4実績 24,700
2				R5実績 24,350
3				R6実績 19,450
4				

### 3. 総評

下宿先受入可能人数は減少傾向にあり、令和6年度では52名分となっているが、離島留学生の人数は、直近5年平均で約40名(最大46名、最小34名)となっていることから、一定数の確保はできていると考えている。

### 4. 今後の取組方針

離島留学生の人数と受入先軒数のバランスも考えながら、新規の受入先を確保するなど必要に応じて対応していく。